

31

# かきせみ



2003年夏号

八王子・日野カクセミ会

# MOKUJI

## 目次

明らかにになるか！？多摩川のツバメ集団ねぐら	・・・2
平の堰ツバメねぐら観察会(7月27日)に参加して	・・・3
ツバメの営巣	・・・4
ツバメ集団ねぐらの話	・・・8
(表紙の絵：トウネン)	・・・11
種類数半減・総羽数1/5に減少	・・・12
ブト・ボソガラスどちらが多い	・・・14
夏山探鳥(雲取山～三峰山)	・・・16
探鳥の記録(2003年1月～6月)	・・・17
鳥信(主として2003年1月～6月)	・・・27
(浅川流域探鳥図：浅川上流)	・・・39
2003年カラス巣調査中間報告	・・・40
ハクセキレイの集団ねぐら(2003年1月～6月)	・・・42
ヒメアマツバメの動向(2003年1月～6月)	・・・44
2003年浅川流域野繁殖状況メッシュ調査結果	・・・45
2003年カルガモ繁殖状況調査結果	・・・50
2003年オオルリ他夏鳥調査結果	・・・52

八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲

八王子・日野カワセミ会は  
浅川周辺の野鳥を観察する市民グループです。



## 明らかになるか！？多摩川のツバメ集団ねぐら ～多摩川流域ツバメ集団ねぐら調査連絡会について～

渡辺 仁

カワセミ会では 1996 年から多摩川平の堰（日野用水堰）のツバメ集団ねぐらの調査を行っています。皆様ご存じのように、この集団ねぐらはピーク時には個体数 2 万以上を数える大規模なものです。

しかし、多摩川にはもっと別のツバメの集団ねぐらがあるのではないか、という疑問から、昨年 2002 年 7 月に粕谷会長と多摩川河口～平の堰 45 km 区間の、ライトを使った徹夜！の調査を実施しました。果たして、大師橋下流右岸、六郷干潟のヨシ原でツバメのねぐらを確認しました。続けざまにやはり夜間の調査で府中四谷橋下流において平の堰の集団ねぐらに匹敵する 2 万羽規模の集団ねぐらを発見。同時期に調査を実施していた世田谷の野鳥環境を考える会の方々も世田谷区が多摩川で 2 カ所のツバメの集団ねぐらを発見していました。

とすると新たな疑問が湧いてきます。平の堰の上流側にも集団ねぐらがあるのではないか、多摩川全体をしっかりと調査すればまだ他にも集団ねぐらがあるかもしれない。さらには、ツバメの集団ねぐらとなるような多摩川的环境を守っていききたい、という思いから、カワセミ会から多摩川の関係団体に呼びかけ 2002 年 12 月に「多摩川流域ツバメ集団ねぐら調査連絡会」を設立しました。この会は現在 9 の団体会員及び個人会員により組織されています。本年 2003 年は、まずツバメの集団ねぐらの分布を把握しようという目的のもと、多摩川本川について、青梅市の小作堰～河口までの全区間をもれなく調査を実施しています。これは一水系の調査としては全国的に例のない画期的な調査だと思えます。当然ではありますが、カワセミ会の有志の皆様も調査に参加されています。

調査はこれから 3 年程度をかけて、集団ねぐらの位置だけでなく、集団ねぐらになるのはどんな場所なのか？どこから集まってくるのか？年間の変動は？などなど、標識調査も組み合わせ、いろいろなツバメの生態を解き明かすべく実施していく予定です。

本年度のとりまとめはこれからの作業になりますが、少しずつ多摩川のツバメの集団ねぐらについて解明されていくのではないのでしょうか。本連絡会のメーリングリスト t\_swallow でも活発な議論が巻き起こっています。どんな結果が出てくるのかワクワクしています。

カワセミ会の皆様に、調査成果について会報等で発表する予定ですが、連絡会の活動はホームページで順次公表していく予定です。

また連絡会の活動に参加してみたい等、ご興味のある方は、私か粕谷会長までご連絡ください。

連絡会ホームページ URL <http://homepage3.nifty.com/tamatsubame/>

## 平の堰ツバメねぐら観察会（7月27日）に参加して

世田谷の野鳥環境を考える会

会長 澤村 信之

「ピーク時には3万羽のツバメが揃入りする平の堰」という話は、昨年12月、八王子・日野カワセミ会粕谷会長の音頭取りで設立された「多摩川流域ツバメ集団揃連絡会」に私共の会も参画させて頂いた時以来、気にかかっておりました。

今般、幸運にもそのチャンスに恵まれ、世田谷区内の多摩川での精々2千羽ていどの揃入りしか見ていない私達仲間9名は足取りも軽やかに夕刻6時頃からの揃観察会に参加させて頂きました。

まず驚いたことは「ここが揃です」と教わったヨシ原の中に3万羽も入れるのだろうか？ 今日の日のは入りは6時51分、6月～7月中旬頃に較べ、ツバメの飛来が遅くなっているようで、6時半になってもチラホラと飛翔しているだけで、本当に2万も3万羽も来るのか心配になってくる。6時45分頃、その気持ちを察してくれたのか、八王子の町の方から、多摩川の上流・下流・奥の方から徐々に集まり始め、アッという間にウンカの如く、「ツバメの塊」が三つ四つと上空高く渦巻きを形成していく。

やがて、急降下、アシ原すれすれに、更に手前の川面で水を飲みながら、狂ったように猛スピードで飛び去っていく。まるで黒い帯が右に左にたなびいているようで、突然ヨシ原や隣接しているヤナギの葉・小枝に鈴なりになって止まり始める。これで落ち着いたのかと思った矢先、7時5分頃、一斉に飛び上がり、上空での大乱舞となる。

しかし、最初の時とは異なり、高度はそれほど高くない。7時10分、再度揃入りし、やっと落ち着いた様子。ここで登場したのが渡辺仁氏ご自慢のハロゲンランプ取り付けた望遠鏡。これで見せていただくと、ホテルのように、ツバメの目が青白く光って見え、数のカウントに威力を発揮する代物だ。今宵の揃入り推測個体数は25,000±5,000羽で、今年最高の記録とのこと。その場に居合わせた幸せを深く噛みしめる。

「この貴重な揃となるヨシ原の保全こそが、ツバメの繁殖保護のための最重要課題ではないだろうか」と考えながら、後ろ髪を引かれる思いで、7時半、私達も自分のねぐらに向かうことに。壮大かつ幻想的なドラマを提供して下さった八王子・日野カワセミ会の皆様、大変お世話になり、有難うございました。

P.S.

- ◆ 揃入りの個体数がかくも多いのは、繁殖の環境が一段と優れていて「ツバメの緑比率」が高く、営巣数が多く且つ繁殖率も高いものと推定されます。
- ◆ ヤナギの小枝への揃入りを観察できたのは今回初めてですが、アシ原だけでは足りなくて、集団揃形成上、止む無く隣接しているヤナギを揃として活用しているのでしょうか。それとも、ヨシとヤナギの持つ弾力性が揃としてツバメの好むところなののでしょうか。

その理由を解きほぐすのも面白そうです。

## ツバメの営巣

(営巣開始から巣立ちまで51日間の記録)

新田 茂

2003年5月5日に玄関に自家製の簡単な巣台を取り付けたところ、11日後の5月16日に一番のツバメがやって来た。3日後の19日から巣作りが始まり、25日までの7日間で巣作りが完了、26日から30日まで1日1卵ずつ産卵(計5卵)した。31日から14日間抱卵し、6月13日に4羽、14日に1羽が孵化した。以降子育てが始まり、22日目の7月4日に4羽、5日に1羽と全てのヒナが巣立った。

場所は八王子市みついで住宅の中で、この団地内では毎年我が家の近くを始め数番のツバメが営巣している。我が家はこの地に家を設け30年経過するが、今まで一度もツバメの営巣がなかったが、本年巣台を設置したところ期待どおりにツバメが営巣した。玄関先の植木の枝をカットしてツバメが出入りしやすいように環境の整備もしたが、巣台設置の効果が得られたので、以下に観察記録を紹介する。

### 5月16日

16日の朝、新聞を取りに玄関をでようとすると巣台の下で小刻みに羽ばたきながら巣台の様子を見るように飛んでいるツバメに出会い、そのまま静かに見ているとやがて巣台に止まり辺りを眺めていましたがしばらくしてみはそこを飛び立ち家の脇の道路上を低くゆっくり飛びながら往来していた♀の後を啼きながらついて飛び巣台に誘っているようでした。

9時30分頃にはもう♀2羽で巣台に止まっているのがみられました。午前中は家の前の電線に止まったり、そこから巣台の付近へ飛んで行ったり、止まったりしていましたが、午後は何処へ行ったのか姿を見かけなくなりました。

### 5月17日、18日

17日、18日も同じ様に過ごしていました。夜間は3日間共巣台の縁を外側を向いて2羽で寝ていました。

### 5月19日

巣台に来て4回目の19日から巣作りが始まり、♀♀交互に盛んに泥をくわえ運んで来ます。近くから運んでくるらしく2分くらいの間隔で帰って来ていました。巣作りを始めてからは巣台では寝なくなりました。

### 5月20日

2日目巣台の下に細い草の根や枯れ草の5~6cmのものが落ちていたので注意して見ているとみはくわえて来ていました。巣台の中を下から観察出来るように様に1m位の棒の先に鏡を直角に付けたものを作りこれを巣台の上にかざし中を覗く事にしました。

泥運びが一段落したのを見計らい巣台の中を見てみましたが盛んに泥の固まりを運びこんでいる割合には余り変化が見られない様に思えました。巣作りを始めてから5日目位からそれまで程、熱心に運ばない様になりました。

### 5月25日

7日目巣台の中は底一面に泥が敷詰められその上に円形と楕円形のものが接して低く積まれた泥の固まりで形造られその上に粗く細い草の根や枯草がばらまく様に置かれた椀形のものとは似つかぬ扁平なものがつくられていた。巣台の一部に椀形の巣が造られものとはばかり思い期待していただけに意外な感じがしました。



### 5月26日～30日

26日に第1卵が産み落とされ30日までに計5卵となりました。産卵は毎朝1卵づつ5時から7時頃の間産む様でその時間はずっと巣に座り続けています。1-2卵のうちは夜、巣には戻って来ません。3卵目頃から書間も巣に座っているのが目に着く様になり、4卵目からは更に時間が長くなり夜も抱卵する様になり、5卵目を産むと本格的な抱卵に入りました。抱卵に入ると巣から出る時間も少なくなり、みは巣造りには♀と協力して熱心に行っていました。産卵を始めてからは巣に近づかなくなり、みは全く抱卵を行わず、四十雀のみの様に抱卵中の♀に時々餌を運んで来る様な事もせず全て♀任せの様です。朝4時30分頃家の前の電線に来てひとしきりさえずったあと何処か飛んで行きますが♀はみの声を聞いても抱卵を続け巣を出る事はありません。

### 6月13日、14日

抱卵を始めて14日目6月13日、6時に2羽、11時に1羽、5時に1羽と4羽が孵化し、14日1羽が孵化と5羽が孵化しました。ヒナが孵化するとそれまで全く巣に寄付かなかったみは給餌に来る様になりますが夜は相変わらず1羽で何処かで寝ている様です。

### 6月15日

♀は孵化しても給餌よりもヒナを温めるため巣に座り続けているので巣の外からは見るだけでは孵化した事は全くわかりません。給餌はもっぱらみが行うこととなりますが♀はヒナを温めていてもみがあるとすぐ巣を飛出しすぐ戻って来ると急いで巣に入りヒナを温める。また、みがあると巣を出ることを繰返

しみが給餌に来た時に♀が巣の中で立ち上がってみに給餌させ、また、温めるという様な事をせずもっぱら給餌だけで2羽一緒に巣台に止まる事は全くありません。♀も給餌を全くしないわけではなく戻って来てむこう向きに巣の中で下を向きしばらくして巣に座りこちら側を向いた時、喉に貯めてきた餌を吐き出しヒナに与えた後らしく口をモグモグさせているのを見ると下を向いて給餌していたものと思われる。みは巣台の左側で給餌し♀は右側に止まりそこから巣に入り巣から出ます。ヒナも孵化後3日ともなると巣の中で少しずつ動き回る様になるらしくヒナの動きには♀は立ち上がって下をみたり、向きを変えて座り直したりの動きが見られる様になります。

### 6月19日

給餌を受けたヒナが親やまだ巣台に止まっている中に糞をしようとする親鳥は尻から出るのを直ぐくわえて持去る。親が飛び去った後でする糞は巣の下へ向かってするので毎日の掃除は欠かせない。みを♀も1回の給餌はヒナ1羽だけ行っている。

### 6月22日

3時55分ヒナが大きくなり♀は夜巣の中で寝られなくなってきたので巣台の縁に内側を向いて止まっている。全く動かず未だ寝ているらしい。♀が給餌中みは飛出したが♀は飛び去らずみの給餌が終わると2羽一緒に飛び去る。み♀が同時に巣台に止まるのは珍しかった。ヒナは親が来るとジェージェーと啼きながら首を伸ばし口を一杯に開け餌をねだるが口を真上に向け親の方へ向けてないのは未だ目が見えていないせいらしい。

## 6月25日

4時14分、巣台に♀はいないもう夜は他で寝ているらしい。4時22分、♀飛来、巣台に止まりジュッと啼くとヒナも答える様にジュッジュッと啼く、今朝は夜明け前から雨足強く音をたてて降り続けている、こんな雨では昆虫も飛ばず親鳥は虫採りに苦労しているのだろういくら待っても給餌に帰ってこない。育ち盛りのヒナは空腹のため親がきていないのに何かの刺激で1羽がジェージェーと啼きながら首を伸ばし口を開けると他のヒナも一斉に口を開け餌をねだるが親がいないとわかるとガクッと首を垂れるが直ぐ又一斉に口を開けて餌をねだる事を繰り返している。結局4時~5時に一時間にみが2回給餌に来ただけでヒナにとっては厳しい朝となった。10時頃になっても給餌間隔は長かったが12時30分頃雨が止み陽も差し始め青空が見える様になると昆虫も飛び始めたのか今までに給仕不足を補う様に続けさまに給餌に帰りヒナもようやく満腹したのか今朝の騒ぎを忘れた様に静かに巣の中に伏せ親を待つ様になった。ヒナ2羽巣を乗り越え巣台の縁まで這い出してきた。

## 6月28日

5羽共巣台の縁に這い出し顔を見せている。餌をせがむジェージェーの音が騒がしい、ヒナの食欲旺盛で親が来ると一斉に身を乗り出し競争で餌をせがむので給餌に帰って来た親鳥は巣台に止まりゆっくり給餌する事ができずホバリングする様にしたり巣台の縁に爪先をわずかに掛け羽ばたきながら大急ぎで給餌をすませ素早く飛び去って行く。頻りに餌を持って来るがヘルパーはいない様だ。親を待つヒナの前を足長蜂が一匹通り過ぎて行くの

を見つけると蜂に向かって一斉に啼きながら首を伸ばし口を開け餌をねだるポーズをしている。一番発育の良い1羽が朝から巣台の角で体を乗り出す様に止まっているので落下しないかと気になっていたが午後の観察中♀が給餌に飛び去った後見るとそのヒナがいなくなっていた。観察している場所が玄関のドアを少し開け上側に出来る隙間から玄関の内側に立って見たのですぐドアを開けて見るとキョトンとした顔で落ちていた。風切羽も生えてきていたので落下時の衝撃も少しは柔らげられたのかも知れない。体を調べて見たが異常は無かったので直ぐ巣に戻した。観察中の落下ですぐ気が付き良かったと思っている。

## 6月29日

親を待つ間、羽づくろいや羽ばたきを盛んにしている。ヒナが大きくなり親は給餌がますますやりづらくなってきている。ヒナの前を横切ながら素早く餌をヒナの口に入れ、直ぐ飛び去る様に給餌をしている。ヒナが餌をもらおうとすぐする糞も放っておくと巣の下にすぐ貯まる糞も集まって来るしツバメが巣を造った家の悩みの種だろうと思う。

## 7月2日

晴れ、最終給餌時に照度を測定する。

19時04分♀80Lux (日の入 19時01分)

## 7月3日

4時21分、ヒナは尾を外側に頭を中に円陣を組んで暖をとって寝ている。4時33分、♂給餌に来る。40Lux (日の出 4時29分)。ヒナ羽を伸ばしたり羽づくろいをしたり、巣台の縁に内側を向いて止まり羽ばたきを繰り返す

が羽根は未だ柔らかそうに見える。先日落下したヒナの巣台の角に止まり下の方や外を眺め飛び立ちそうな気配を見せている。

#### 7月4日

外出から戻り巣台に止まる5羽の写真を撮る。14時頃見ると4羽巣立っていた。その後又外出18時30分頃帰宅したのでその間残った1羽のヒナへの給餌状態はわからない。19時頃にはヒナ1羽だけ。巣立ったヒナも親鳥もいなかった。

#### 7月5日

5時24分、巣台を見ると丁度みが給餌に来ていた。6時15分、♂2回♀1回続けて来るその間他のヒナの姿はなく家の付近にも飛んでいる様子はなかった。12時30分頃見た時には巣立ちしていた。巣立ちは昨日も今日も非常にサッパリしたもので巣立ちする時は一気に飛び去っていったらしい。夜は1羽も戻って来なかった。

#### 7月9日

巣立ち後5日を経過し親ツバメも姿を見せず、ヒナも夜間帰って事もないので巣台を外し中を調べることにした。替わりに反対側に新しい巣台を取り付けた。巣造りを始めてから毎日進行状態を見ていたが実際に見て見るとやはり底一面に泥が敷かれ巣となった直径9cm位の円形のものと同様円形のもので泥の粒で低く囲まれて出来ている扁平なものであった。円形のものの中には草の根や鳥の羽根が敷かれてあり巣として使用されたことがわかる程度のものであった。

巣台の縁に赤土で汚れた跡の様な染みの様なものをよく見るとモソモソと動いていた。羽虫の集団だった。すぐ殺虫剤を噴霧したがいくら親鳥が巣を清潔にしておくよう努力しても巣立ち後には羽虫の発生は避けられないものなのであろうから同じ建物に2個の巣を造り1回目と2回目はそれぞれ別の巣を使用したり2回目は新たに造ったものを使用する事は願ける事だ。カラスにも猫にも襲われず1回だけ1羽巣から落下はしたが無事5羽巣立ちして行ったことは51日間注意していた甲斐があった。





## ツバメ集団ねぐらの話

2003年7月27日、ツバメ専門家の須川恒様（龍谷大学深草学舎）からツバメの集団ねぐらの話を聞く機会がありました。多摩川流域ツバメ集団調査連絡会の主催で行ったものですが、今後の我々のツバメ調査活動に参考になる貴重な話を伺うことが出来ました。以下、当日の話と配布された資料から、特に私（粕谷和夫）の心に残った事項を箇条書きで紹介します。配布された資料は「ツバメの集団ねぐら（ねぐら）の観察、須川恒、Nature Study 36(8) 1990」と「ツバメの集団ねぐら地となるヨシ原の重要性、龍谷大学深草学舎 須川恒、関西自然保護機構会報 21(2),1999」です。詳しいことを知りたい方は、粕谷がこの資料を保管していますのでご利用下さい。

（文責：粕谷和夫）

### 1. ツバメの生活史

ツバメは軒先で営巣している数ヶ月を除くと、ねぐら場所は変わるが集団ねぐらに始まり、集団ねぐらに終わる生活をしている。

営巣活動期 4月下旬～8月上旬 巣の中又は巣近くでねぐらをとる

夏秋ねぐら 7月中～8月上旬がピーク 日本のヨシ原で2万羽規模の集団ねぐら形成

渡り途中ねぐら 秋、沖縄のサトウキビ畑で集団ねぐらを形成

冬ねぐら 10月～2月 フィリピン等東南アジアの電線で10万羽規模の集団ねぐらを形成

春ねぐら 3月下旬～4月上旬日本の河川敷等で小規模の集団ねぐらを形成

### 2. 集団ねぐらを形成するツバメの仲間（京都の例）

ツバメが殆どで、8月中旬以降になるとショウドウツバメが一部混じる。

京都盆地の団地などで多数営巣しているコシアカツバメはツバメの集団ねぐらには入らない。

### 3. 集団ねぐらが形成される環境と植生（近畿の例）

池・溜池（16ヶ所）、河川敷（15ヶ所）、休耕田（7ヶ所）で池・溜池が多い。

植生はヨシが圧倒的で44ヶ所、セイタカヨシが2ヶ所で、ヤナギ等はない。ヨシ原では利用する植物はヨシであり、オギではない。

### 4. 集団ねぐらの分布（近畿の例）

15～20キロメートル毎に大きな集団ねぐらがある。

### 5. 成鳥と幼鳥の割合（京都の標識調査結果）

7月下旬～8月下旬は約90%が幼鳥で成鳥は約10%に過ぎない。

9月上旬になると成鳥は約3%、9月後半には約2%に減少する（成鳥は先に渡ってしまう）

## 6. 体重と渡り開始の関係（京都の標識調査結果）

成鳥、幼鳥とも7月上旬では約17グラム、成鳥は増加を続け8月下旬には19グラムを越えるが、幼鳥は19グラムになるのは9月下旬になってから。成鳥の方が渡りに備えた体内エネルギー蓄積が早いので、旅たちも早いのではないか。

## 7. 夕方、ツバメが集団ねぐらに戻って来るパターン（京都の例）

時期により二つのパターンがある。

6～7月：日没時前後のかなり明るい時間から集合を始め、明るいうちにヨシ原上に止まるものもいる。

8月以降：日没時になってもなかなか帰って来ず、日没20分～30分後になってやっと集合し急速に個体数をます。既に薄暗くなっているので、注意が必要。

## 8. ねぐらに飛び込むパターン

二つのタイプがある。

「流れ」：ヨシ原の上空を低く飛んだ後、ヨシ原に降りるタイプ。

「木の葉落とし」：上空を大群で飛んだ後、群の底部あたりから木の葉が落ちるよう舞い降りるタイプ。

日日の就峙は「流れ」で始まり「木の葉落とし」で終わる。季節的には集団ねぐら形成期の前半は「流れ」で就峙する個体が多く、後半は「木の葉落とし」がよく見られる。

## 9. 朝の飛び出し

朝は南西又は南南西の一定方向に向って飛び出す習性がある。したがって、前の晩、ヨシ原の中に限定的に形成される「集団ねぐら」位置を確認しておき、翌朝その場所から飛び出す方向となる南西又は南南西の場所で待っていると、飛び出しを観察できる。

## 10. 昼間のツバメ

秋のサシバの渡りルートになるような上昇気流の出る所は、ツバメの餌となる虫も集まり易いので、ツバメは昼間は、そのような所に行ってエサを捕っているのではないか。

## 11. 集団ねぐらの調査の意義

身近な湿地がわかる。身近な湿地の保全に役立つ。まず、大きな集団ねぐらを見つけ出すことが大切、集団ねぐらを見つけ出さないと、そこは開発等により人知れず消滅していく危険性が高い。現状では集団ねぐらの存在を気がついている人が皆無に近い。

## 12. 集団ねぐら保護の手法（その1、観察会の開催）

集団ねぐらの存在やその意義を示す情報をマスコミや観察会を通じて多くの人に伝えることが大切。

### 13. 集団ねぐら保護の手法（その2、集団ねぐら目録の作成）

生息地目録(Habitat Inventory)はその生息環境を保全するために触媒的な役割をもつ情報集である。日本ではガン類の渡来する湿地やシギ・チドリ類が渡来する湿地の生息地目録が出来ていて、ガン類やシギ・チドリ類が渡来する湿地保全に大きな役割をはたしている。Inventoryには財産目録の意味が含まれている。ツバメ集団ねぐら地のようなところも自然財として認識を高めるために「目録」の作成が大切である。

### 14. 集団ねぐらに集まってくる羽数のカウント法

トレーニングと「やるぞ!!」という根性が必要である。トレーニングを積み重ねていくとかなり正確にカウントできるようになる。

### 15. 継続期間と移動

集団ねぐらの形成は一時的なものではなく、ねぐら地であるヨシ原の現状が続く限り、かなり長期間でも同じ場所をねぐら地とする。宇治川向島のねぐら地は1973年に発見され、今でも続いているし、全国的にはもっと長い期間の継続が確認されている。大阪府南部や兵庫県南部のように、安定したねぐら地形成されず、集団ねぐらが移動を繰り返す地域が存在するが、その原因はこれらの地域のヨシ原の面積が小さいからと考えられている。

また、同一地域内で移動する場合も小数の例がある。これはヨシ原に競合するスズメやムクドリの大規模の集団ねぐらが形成される場合発生するようである。





## 表紙の絵：トウネン

「トウネン」については、今でも鮮やかに、甦ってくる光景がある。初めて見たのは、平成9年4月19日の谷津干潟。カワセミ会探鳥会の時だった。教えてもらって見たのだが、未熟だったため、ほとんど頭に入らなかった。それから、一人での谷津干潟通いが始まった。

やがて、トウネンが、あの小さな体で、オーストラリアから北シベリアまでの一万キロ以上の渡りをしていること、1回のノンストップ飛行が、2千キロから4千キロに達すること、などを知った。それ迄、考えたこともなかった渡り鳥の謎に満ちた、奥の深い世界に、初めて触れたと思った。

同年の9月2日、残暑厳しい午後遅く、私は一人で多摩川河口の「いすず自動車」横の土手にいた。引き潮が始まっていた。新たに現れた干潟には、キアシシギ、ソリハシシギ、メダイチドリ等がたくさんいた。そこに、トウネンが7羽舞降りてきて、いきなり一心不乱に採餌を初めた。波が寄せてくる度に、小走りになって避け一秒も無駄にすまいと、懸命になっている様に見えた。此处で、どれだけの量を食べ切るかが、次の飲まず食わずの飛行の生死をわけるのだということを、私は知っていた。死にもの狂いの様な、切迫した動きに見入っている内に、熱いものが胸にこみ上げてきた。スコープから目を離し、双眼鏡を持って土手に座りこんだ。太陽は西に傾き、工場の影が長く波打ち際にまでのびてきていた。周りには誰もいなかった。アオアシシギの、哀調を帯びた、チョーチョーチョー、という鳴き声が聞えていた。

その時、意識の内部で、何かが、がらりと切り換わった。趣味のバードウォッチングの対象だった、トウネンは姿を消し、そこに居たのは、緊張感に充ち、力を漲らせた、生身の野生動物としての、トウネンだった。干潟を我がものとし、それと一体になっている存在感は圧倒的だった。生きる精気が剥き出しになって溢れ、私はそのいのちを体一杯に感じ取っていた。あと数日もすれば、彼らは遙かな南へ向かって、2千キロ以上のノンストップ飛行に一斉に飛び立つ筈だ。

そして、私の想像力も、その後を追って、いっきに舞い上がる。

空と海の間。満天の星座のきらめき。輝く南十字星。東シナ海の暗い大きなうねり。果てしなく広がる水平線。その一点めざし飛び続ける、トウネンたちの翼の風を切る音。小声で鳴き交わす声と声。激しく変化する気流の圧力。渡り鳥の強靱さと危うさ。(倉本修)

## 種類数半減、総羽数1/5に減少 (多摩川滝山下、16年間のカウント結果)

取りまとめ：粕谷和夫

本会では、滝山城跡公園北側の多摩川右岸で水管橋から昭利用水堰までの間を1987年から毎月1回定期カウント調査をしている。この調査の年次別参加者は以下のとおりであり、今までに17名の会員が参加している。

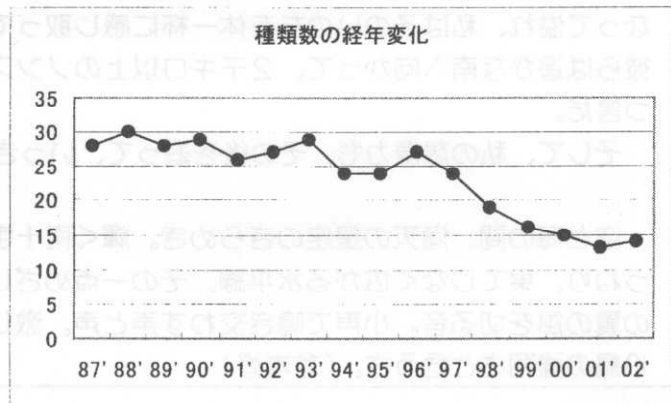
年次	調査参加者(50音順)
1987	粕谷和夫 木村晴美 小山万太郎 斉藤高昭 榛沢務 三好恒雄
1988	斉藤高昭 野田洋次
1989	門口一雄 門口裕子
1990	大田真 門口一雄 門口裕子 馬場裕 三好恒雄
1991	田中英吉 榛沢務 三好恒雄
1992	三好恒雄
1993	大関豊 三好恒雄
1994	大関豊 三好恒雄
1995	三好恒雄
1996	三好恒雄
1997	三好恒雄
1998	三好恒雄
1999	井上典子 傍島玲子 三好恒雄
2000	佐伯直寛 三好恒雄
2001	佐伯直寛 三好恒雄
2002	井上典子 佐伯直寛 佐久間輝子 傍島玲子

ここでは、過去16年間に観察された野鳥のうち、水鳥に絞って年次変化を概観する。次表は年次毎の最高羽数である。45種が観察されたうち、サギの仲間は7種、カモの仲間は14種、シギチドリの仲間は12種である。サギの仲間ではアマサギとチュウサギ以外はほぼ毎年観察されている。カモの仲間は80年代は毎年10種以上観察されたが、90年代中頃には5種程度に半減し、2000年代になると1~3種と激減してしまった。シギチドリの仲間ではオジロトウネンが1994年から3年間1~2羽が越冬したことが特筆される。

クイナ、ヒクイナ、タゲリ、トウネン、チュウシャクシギ、コアジサシ等も貴重な記録である。コブハクチョウは下流の日野用水堰で餌付けされていた個体が現れたものと推定される。

この16年間、この場所での水鳥の減少は顕著である。種類は次グラフの通り、ほぼ半減した。総羽数の減少はもっと極端でほぼ5分の1に激減してしまった。

この減少の大きな要因はカモ類の減少で、カモは種



類も数も減少が著しい。代表的なコガモとオナガガモの経年変化は次表の通りであり、オナガガモにいたっては1999年以降は姿を消してしまった。ハマシギも次表のとおり、減少が著しい。

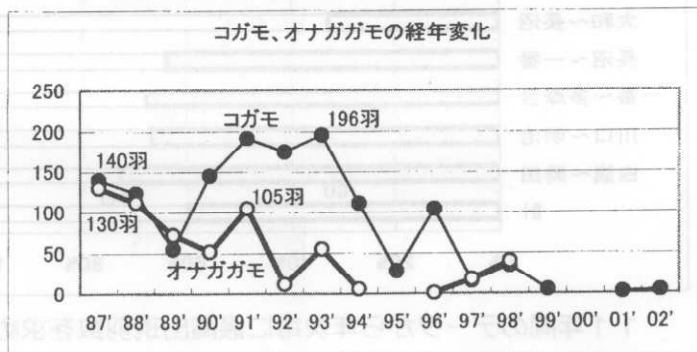
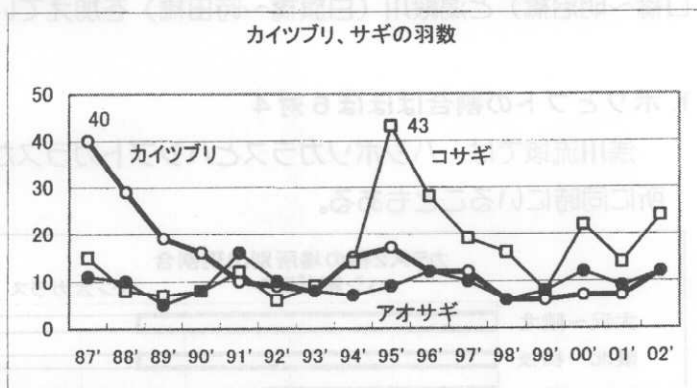
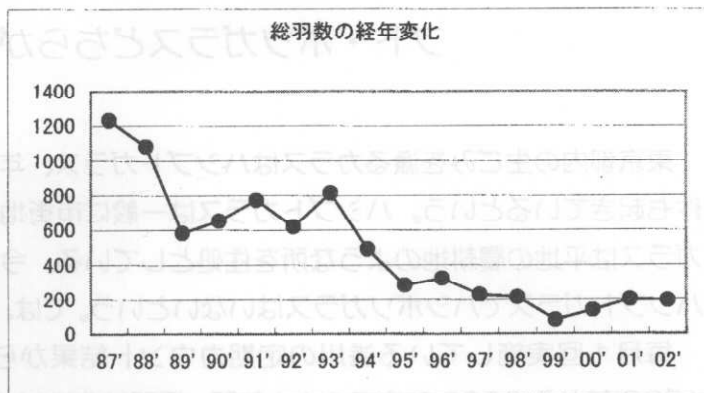
1980年代と現在を比べ、この地域、周辺に大きな環境変化は見られないにも関わらず、何故このようにドラスティックに野鳥が減少してしまったのか。その解明にどのような手法で取り組むべきか、課題山積である。なお、現在この地域を毎月定期カウントしている佐伯直寛氏から次のようなコメントが寄せられましたので付記します。

この観察調査表を拝見する限り1996年を境に減少傾向にあり、これは下記の問題点によるものと推察されます。

記

1. 堰の改良により水の流れの変化、浅瀬及び淀みの減少。
2. カモ類の餌となる水苔、雑草等の減少。
3. 猛禽類及び小動物の採餌場となりカモ類の生息する安全な場所でなくなった。現況は毎月のカウント調査の時、水鳥の数があまりにも少ないため、堰より上流を見て加える状態です。

まとめとして私の意見ですが、今後の課題と致しまして多摩川滝山下のカウント調査よりも高月の浄水場、池にカモ類が多数観察されますが、一つ土手を越した秋川及び多摩川には数が少ないことが何故かを重点的に取り組む事により解明に近づくのではないですか。





## ブト・ボソガラスどちらが多い？

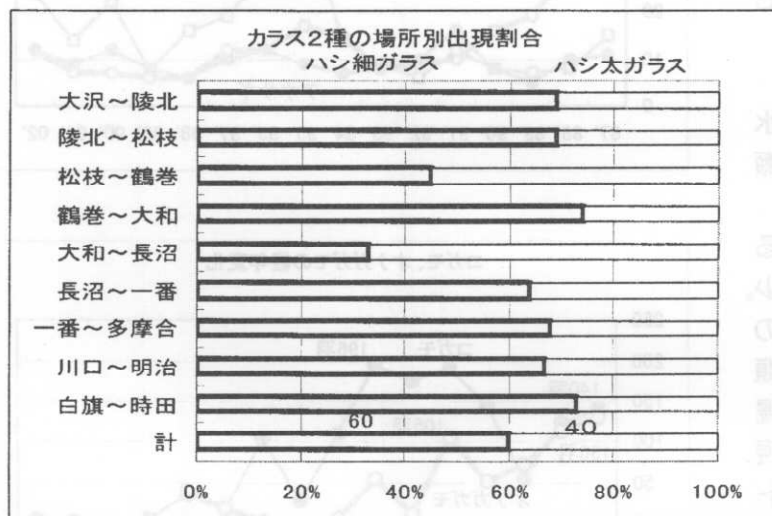
取りまとめ：粕谷和夫

東京都内の生ごみを漁るカラスはハシブトガラス、年々増え続け最近是人を襲う事件も起きているという。ハシブトガラスは一般に市街地と山地を住处とし、ハシボソガラスは平地の農耕地のような所を住处としている。今、都内にいるカラスは殆どがハシブトガラスでハシボソガラスはいないという。では、浅川ではどうなっているか。

毎月1回実施している浅川の定期カウント結果から検証してみる。観察期間は1992年から2002年までの11年間、場所は北浅川（八王子市下恩方）の大沢橋から浅川本流を下り、多摩川合流地（日野市落川）まで約21km、この間を約3km毎に7区間に区切り、担当者を決めて毎月1回観察したデータ、他に支流の川口川（川口橋～明治橋）と湯殿川（白旗橋～時田橋）を加えている。

### 1. ボソとブトの割合はほぼ6対4

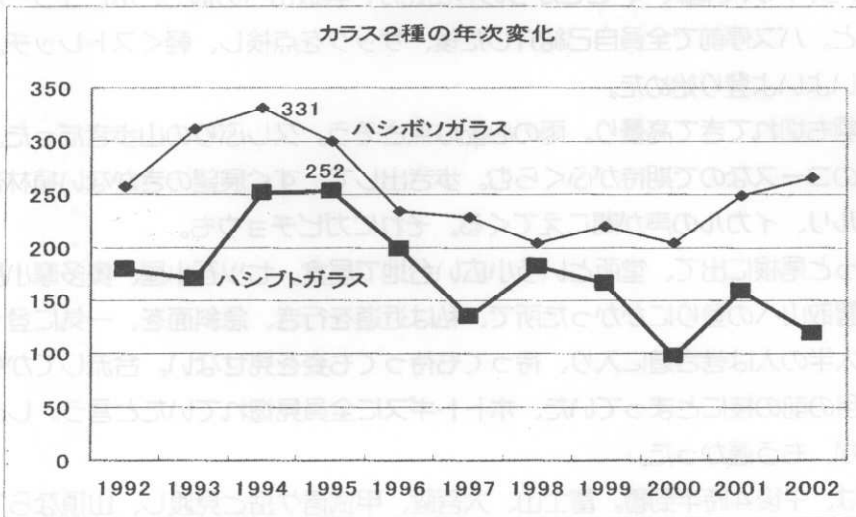
浅川流域では、ハシボソガラスとハシブトガラスが共存している。両者が同じ場所に同時にいることもある。



11年間のデータから年次毎に最高出現羽数を求め（一部他の月と比べ突出した羽数の場合は2番目の羽数で調整）、場所別に最高出現羽数の平均値を算出し、ボソガラス、ブトガラス2種の割合を表したのが上図である。松枝橋～鶴巻橋と大和田橋～長沼橋の2区間はハシブトガラスの方が多く、それ以外の区間では、全てハシボソガラスの方が多く、全体ではハシボソガラスとハシブトガラスの割合が6対4であった。

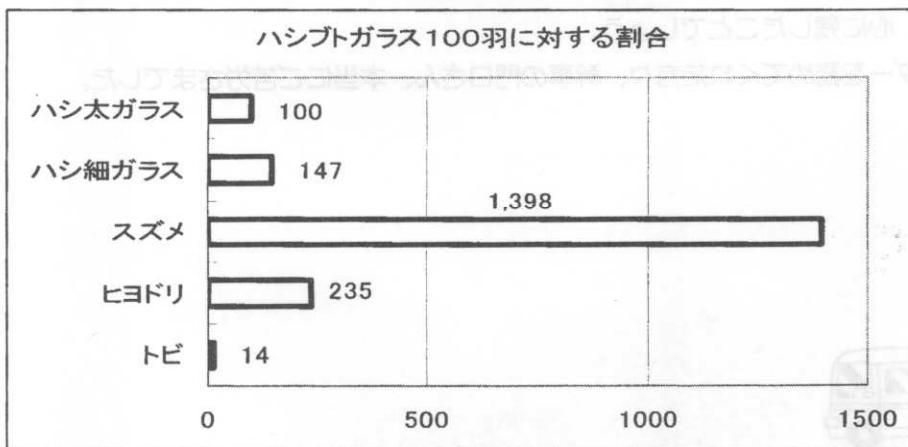
## 2. 浅川のカラスは増えているか

11年間のデータから年次毎に最高出現羽数を求め、年次別に9区間を合計して、グラフ化したものが次図である。浅川では両種とも減少の傾向が見える。



## 3. スズメはハシフトガラスの14倍

浅川のカラスが多いか、少ないか判断は難しい。ここではカラスのいる環境に普通にいるヒヨドリとスズメ、また、いつも上空でカラスに追われ、カラスの食性と競合が想定されるトビとの比較をしてみた。この3種の出現羽数の求め方は前記のカラスと同一である。次図はハシフトガラス100羽に対する割合を示したもので、相対的割合で見るとスズメが圧倒的に多く、ヒヨドリも2倍以上であるが、トビはハシボソガラスの約10分の1である。



## 夏山探鳥（雲取山～三峰山）

倉本修

奥多摩駅から、バスで鴨沢へ、ここからの登山路が、雲取山への最も、ポピュラーなコースとのこと。バス停前で全員自己紹介した後、ザックを点検し、軽くストレッチ。午前9時半、いよいよ登り始めた。

上空は少し雲も切れてきて高曇り。雨の心配は無さそう。久しぶりの山歩きだった。勿論、初めてのコースなので期待がふくらむ。歩き出して、すぐ展望のきかない植林帯に入る。オオルリ、イカルの声が聞こえてくる。それにガビチョウも。

正午頃、やっと尾根に出て、堂所という小広い台地で昼食。七ツ石小屋、奥多摩小屋を通過し、小雲取山への登りにかかった所で、私は近道を行き、急斜面を、一気に登ってしまった。大半の人は巻き道に入り、待っても待っても姿を見せない。合流してから聞くと、すぐ目の前の枝にとまっていた、ホトトギスに全員見惚れていたと言う。しまったと思ったが、もう遅かった。

雲取山頂には、午後4時半到着。富士山、大菩薩、甲武信ヶ岳と見渡し、山頂ならではの醍醐味を味わった。雲取山荘横から見た、この日の夕焼けは、とても華やかで美しく、この山に初めて登った人たちは、特別な思い出となったようだった。

翌朝は霧が濃く、日の出は見られなかった。それでも早朝探鳥で、ホシガラス、ルリビタキを見つけ、ジュウイチ、コルリなどの声を聞いた。6時40分山荘を出発。三峰神社へ向けて下山を開始。クロジの朗々としたさえずりが、山道のすぐ脇の林の茂みから聞こえてくるのに、姿が見つけられない。口惜しかった。途中、三峰神社の奥宮のある、妙法ヶ岳へ立寄り、眺望を楽しんだ後、ロープウェイ乗り場に辿り着き、バスと電車を乗り継いで帰路についた。怪我もなく、全員無事に下山。各自、それぞれ自分だけの思い出を、心に残したことでしょう。

サブリーダーを務めてくれた方々、幹事の門口さん、本当にご苦労さまでした。



## 探鳥の記録（2003年1月～6月）

取りまとめ：山崎悠一

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| ① 1月5日（日）         | 月例探鳥会：多摩川（JR日野鉄橋～ひょうたん池） |
| ② 2月2日（日）         | 月例探鳥会：北浅川（松枝橋～陵北大橋）      |
| ③ 2月6日（木）         | 平日探鳥会：多摩森林科学園            |
| ④ 2月8日（土）～11日（火）  | 遠出探鳥会：北海道道東              |
| ⑤ 2月15日（土）        | 周辺探鳥会：南高尾～城山湖            |
| ⑥ 3月8日（土）         | 周辺探鳥会：宇津貫                |
| ⑦ 3月9日（日）         | 公開探鳥会：浅川（ふれあい橋～一番橋）      |
| ⑧ 3月12日（水）        | 平日探鳥会：浅川長沼橋～長沼公園         |
| ⑨ 4月13日（日）        | 月例探鳥会：北浅川（松枝橋～小田野中央公園）   |
| ⑩ 4月19日（土）        | 遠出探鳥会：谷津干潟               |
| ⑪ 5月11日（日）        | 公開探鳥会：裏高尾（小下沢林道）         |
| ⑫ 5月17日（土）        | 早朝探鳥会：高尾山                |
| ⑬ 5月24日（土）～25日（日） | 遠出探鳥会：奥日光                |
| ⑭ 6月7日（土）         | 遠出探鳥会：三頭山（都民の森）          |
| ⑮ 6月28日（土）～29日（日） | 遠出探鳥会：雲取山～三峰山            |

### ① 1月5日（日）：月例探鳥会

場所：多摩川（JR日野鉄橋～ひょうたん池）

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ  
トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ キジ イカルチドリ クサシギ イソシギ  
ユリカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス  
エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ  
シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト  
(45種)

本日のベスト：オオタカ カシラダカ ベニマシコ

鳥仲間

青木繁昌 浅野恵美子 井形定子 井手龍世 井上典子 今井達郎 大川征治 小川清成  
粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 神谷古牧 川上恵 雉本敬哉 久保田ヤス子 小塩菊子



佐藤サヨ子 佐藤哲郎 嶋崎太郎 白川司 杉田陽子 杉森ユリ 鈴木章七 関根伸一  
傍島玲子 高橋和子 千葉禎子 仲尾政幸 仲尾陽江 新田茂 原田佳世 平井國二  
古山隆 藤生稔久 細田富美代 丸山二三夫 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子 若狭誠

(40人)

担当者の記録

年頭の挨拶もあわただしくすませ、多摩川右岸に直行。オオタカが我々を迎えてくれた。オオタカは向きを変え場所を変えてサービスしてくれた。カシラダカの胸の白さが鮮やかだったこと、今年もベニマシコに会えたことが印象的だった。

②2月2日(日):月例探鳥会

場所:北浅川(松枝橋~陵北大橋)

確認した野鳥:

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ ノスリ チョウゲンボウ キジ  
イカルチドリ クサシギ タシギ キジバト カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ  
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタ  
キ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロカシラダカ アオジ  
カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラ  
ス ドバト ガビチョウ(42種)

今回のベスト:クサシギ タシギ アカゲラ

鳥仲間

井形定子 井上典子 今井達郎 大川征治 大川香 小原堅嗣 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 河村洋子 木村晴美 近藤幹夫 佐伯直寛 佐藤サヨ子 白川司 白川史子 傍島玲子 永見博子 中野悠紀子 仲尾政幸 平井国二 平井智恵子 古山隆 三好恒雄 矢崎恵美子 山崎悠一 山崎久美子 横山由美子 小沢恭一 小沢洋子(30人)

担当者の記録

出発してクヌギやコナラ林でアカゲラを観察。そして通称浅川溪谷の近くでクサシギをじっくりと観察することが出来た。ノスリが対岸のこすえで羽根を休めていた。

③2月6日(木):平日探鳥会

場所:多摩森林科学園

確認した野鳥

トビ オオタカ ノスリ ヤマドリ キジバト アオゲラ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ  
モズ ルリビタキ ジョウビタキ トラツグミ シロハラ ウグイス ヤマガラ  
シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ウソ イカル スズメ カケス

ハシボソガラス ハシブトガラス ソウシチョウ (28種)

今回のベスト：ヤマドリ ルリビタキ ノスリ

鳥仲間

青木繁昌 浅野恵美子 井上典子 今井達郎 春日健一郎 近藤幹夫 佐藤サヨ子 白川司 白川史子 杉田陽子 傍嶋玲子 高橋和子 田中英吉 千葉禎子 仲尾政幸 仲尾陽江 馬場啓子 平井国二 平井智恵子 細田富美代 三好恒雄 川上恚 野村 谷村 荒川 佐藤 (26名)

担当者の記録

多摩森林科学園の平日探鳥会は、今回で3回目になった。毎回ミヤマホオジロ、トラツグミ、ヤマドリなどとの出会いを念じてのウォッチングだった。3度目の正直？ 願望のヤマドリが出現。美しい毛並み、長い尾。見事な成鳥のオスを十数メートルの距離で見られ、感動した。(川上恚)

④2月8日(土)～11日(火)：遠出探鳥会

場所：北海道道東

確認した野鳥

ヒメウ オオハクチョウ マガモ コガモ オナガガモ キンクロハジロ スズガモ クロガモ ビロードキンクロ アラナミキンクロ シノリガモ コオリガモ ホオジロガモ ウミアイサ カワアイサ トビ オジロワシ オオワシ ケアシノスル ノスリ タンチョウ オオセグロカモメ ワシカモメ シロカモメ カモメ ウミガラス ハシブトウミガラス ケイマフリ ウミスズメ コウミスズメ シマフクロウ アカゲラ コゲラ ヒヨドリ カワガラス トラツグミ ツグミ ハシブトガラ シジュウカラ ゴジュウカラ カシラダカ ユキホオジロ アトリ マヒワ ハギマシコ シメスズメ ミヤマカケス ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト (51種)

鳥仲間

青木静子 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 嶋崎太郎 中村啓一 中村千枝 古山隆 細田富美代 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子 若狭誠 (16名)

担当者の記録

釧路空港で嶋崎太郎会員との挨拶と簡単なコース打合せの後、まず阿寒国際鶴センターでタンチョウやオジロワシをチェック。厚岸経由で霧多布岬へ行きビロードキンクロの中にアラナミキンクロをみんなで確認してえとぴりか村泊。納沙布岬や歯舞港、春国岱でクロガモ、シノリガモ、コオリガモ、オオワシに感激した後お決まりのシマフクロウで養老牛泊。野付半島や濤沸湖でユキホオジロを探しハシブトガラを見て網走泊。最後の日は嶋崎さんのフィールドである能取岬、

網走港、呼人探鳥遊歩道などで海鳥や野の取りを観察して羽田空港へ。有意義な三泊四日でした。

⑤ 2月15日(土)：周辺探鳥会

場所：南高尾～城山湖

確認した野鳥

カイツブリ ミミカイツブリ カワウ マガモ コガモ トビ ノスリ キジバト コゲラ  
ラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロ  
ハラ ツグミ キクイタダキ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ  
アオジ カワラヒワ マヒワ イカル シメ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス  
ドバト ガビチョウ (33種)

本日のベスト：ノスリ

鳥仲間

青木繁昌 青木静子 浅野幸男 浅野恵美子 井形定子 石橋公子 井手龍世 井上典子  
今井達郎 大川征治 小澤礼子 門口一雄 門口裕子 河村洋子 久保田ヤス子 小塩菊  
子 近藤幹夫 佐藤サヨ子 清水盛通 杉田陽子 杉森ユリ 傍島玲子 高橋和子 多田  
恒子 田中榮子 永見博子 新田茂 原田佳世 平井国二 細田富美代 丸山二三夫 山  
崎悠一 山崎久美子 横山由美子 (34名)

担当者の記録

このコースで恒例のハギマシコは空振りでした。

⑥ 3月8日(土)：周辺探鳥会

場所：宇津貫

確認した野鳥

カワウ ノスリ キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ ヒヨドリ モズ ルリビタキ  
ジョウビタキ ツグミ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ シメ スズ  
メ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス コジュケイ ガビチョウ  
(24種)

本日のベスト：ノスリ ルリビタキ

鳥仲間

青木静江 井手龍世 井形定子 粕谷和夫 門口一雄 久保田ヤス子 佐藤サヨ子 関  
根伸一 細田富美代 山崎悠一 (10名)

担当者の記録

宇津貫緑の会は八王子ニュータウン建設地にわずかに残る雑木林の保存のため、  
篠刈り等の管理作業、観察会等を行う市民グループです。本会は1997年から毎

年、この会のフィールドで探鳥会を共催し、その後、緑の会の指導を受けながら雑木林の手入れの手伝いをさせてもらってきました。

今年は横浜線相原駅から七国峠を経てホテル沢までの探鳥後一休みして、ホテル沢で伐採されていた竹の枝切り等の作業をしました。毎年思うことは「人手による作業は一生懸命やった割には、仕事は遅々としか進まない。しかし心地良い汗をかいて気分すっきり、継続は宝なのだ」ということです（粕谷）。

### ⑦ 3月9日（日）：公開探鳥会

場所：浅川（ふれあい橋～一番橋）

確認した野鳥

カワウ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ トビ  
イカルチドリ イソシギ セグロカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ コゲ  
ラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョ  
ウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ  
ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト マルガモ(34種)

今回のベスト：カワセミ ヒバリ

鳥仲間

石橋公子 井上典子 大川征治 粕谷和夫 門口一雄 川上恵 木村晴美 佐藤サヨ子  
佐藤哲郎 清水盛通 杉田陽子 傍島玲子 中村啓一 中村千枝 新田茂 萩原正昭  
原田佳世 平井國二 平井智恵子 平井芳子 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子 若  
狭誠 (26名)

担当者の記録

毎年このコースでヒバリが見られる数少ない探鳥会である。今年もヒバリを確  
認できた。日野市広報に掲載した公開探鳥会。非会員から3名も入会者があつた。

### ⑧ 3月12日（水）：平日探鳥会

場所：浅川長沼橋～長沼公園

確認した野鳥

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ バン イカルチドリ イソシギ セグ  
ロカモメ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグ  
ロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ショウビタキ シロハラ ツグ  
ミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウガラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオ  
ジ カワラヒワ ウソ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス  
コジュケイ ドバト ガビチョウ (41種)

本日のベスト：バン カワセミ カシラダカ ウソ

鳥仲間

青木繁昌 井形定子 岩本嘉之 大川征治 近藤幹夫 佐藤サヨ子 杉森ユリ 傍島玲子 千葉禎子 仲尾政幸 中村啓一 平井国二 平井智恵子 平井牧 平井芳子 細田富美子 丸山二三夫 三好恒雄 山崎悠一 若狭誠 小張（21名）

担当者の記録

長沼駅に集合後長沼橋から右岸を下流に往復して水鳥をチェックした。バンはくちばしが黄色なので幼鳥と思われる。カワセミやタヒバリを見た後、霧降の道を通して長沼公園の尾根道まで行く。カラ類やヒタキ類やカシラダカと共にウソを見ることができた。（山崎）

#### ⑨ 4月13日（日）：月例探鳥会

場所：北浅川（松枝橋～小田野中央公園）

確認した野鳥

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ トビ オオタカ キジ コチドリ イカルチドリ イソシギ キジバト アマツバメ カワセミ アオゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス コジュケイ ドバト ガビチョウ(40種)

本日のベスト：アオサギ イカルチドリ シメ

鳥仲間

青木繁昌 井手龍世 井上典子 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 河村洋子 久保田ヤス子 佐伯直寛 佐藤サヨ子 杉田陽子 杉森ユリ 関根伸一 永見博子 萩原正昭 平井国二 平井智恵子 平沢和夫 丸山二三夫 三好恒雄 森松幹治 山浦秀雄 山崎悠一 山崎久美子(26名)

担当者の記録

繁殖色のアオサギが対岸の山桜をバックにとまっていた。キジも全身を草原に現して歓迎してくれた。浅川の流れの中にあるメタセコイヤ化石や石垣の隙間から顔を出していたイタチが鳥以外で印象に残った。最後はカワセミ会恒例の小田野中央公園でカワセミ会 10 周年記念の植樹(山桜)の下での花見でした。



⑩ 4月19日(土): 遠出探鳥会

場所: 谷津干潟

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ トモエガモ オカヨシガ  
モ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ バン コチドリ シロチドリ メダイチ  
ドリ ダイゼン キョウジョシギ ヨーロッパトウネン トウネン オオソリハシシ  
ギ チュウシャクシギ セイタカシギ ユリカモメ カモメ コアジサシ キジバト  
カワセミ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ セッカ アオシ オオジュ  
リン カワラヒワ スズメ カケス ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス ドバト(42種)

本日のベスト: メダイチドリ ヨーロッパトウネン オオソリハシシギ

鳥仲間

青木繁昌 井形定子 石橋公子 井上典子 今井達郎 大川征治 小川清成 粕谷和夫  
門口一雄 門口裕子 倉本修 小塩菊子 佐伯直寛 佐藤サヨ子 平井国二 平井智恵  
子 平沢和夫 古山隆 丸山二三夫 宮越俊一 宮越ゆう 山崎悠一 山崎久美子  
(22名)

参加者の感想

ヨーロッパトウネンがトウネンの中に1羽いて、みんなでその違いを見比べた。  
古山さんや倉本さんに違いのポイントを教えていただいた。三列風切りの茶色、  
少しずんぐり、羽状のふちの白がはっきりしているなど、本当に良く見ないと分  
からないことばかりであった。ヨーロッパトウネンとトウネンは繁殖地も越冬地  
も別であるが、途中で道を間違えたのか、珍しいヨーロッパトウネンを見られて  
ラッキーでした。(山崎久美子)

⑪ 5月11日(日): 公開探鳥会

場所: 裏高尾(小下沢林道)

確認した野鳥

アオサギ ノスリ アオバト ツツドリ アマツバメ アオゲラ コゲラ イワツバメ  
キセキレイ ヒヨドリ ミソサザイ クロツグミ ヤブサメ ウグイス センダイムシ  
クイ キビタキ オオルリ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ イカル カケス ハシブトガラス コジュケイ ガビチョウ(29種)

本日のベスト: コゲラ クロツグミ オオルリ

鳥仲間

青木静子 浅野幸男 浅野恵美子 井形定子 伊倉恵子 石橋公子 稲垣博枝 今井達  
郎 大川征治 大川香 小川清成 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 川上恵 木村晴美

久保田ヤス子 近藤幹夫 佐伯直寛 佐藤サヨ子 佐藤哲郎 清水盛通 白川司 白川史子 関根伸一 傍島玲子 高山早苗 永見博子 長谷川篤 長谷川典子 福本順吉 古山隆 三好恒雄 森松幹治 山崎悠一 山崎久美子 横山由美子 今井 田中 大山 横川 出口 大野 高山 鈴木 稲垣 北園×4人(50名)

担当者の記録

バードウィークの期間中、毎年、一般市民にも参加を呼びかけて公開探鳥会(オオルリを探す会)を開催している。場所は裏高尾の小下沢、ここは林道で道巾があり、一般のハイカーが少なく大勢で一緒に鳥を見るのに都合よく、かつ毎年オオルリが数羽観察されている。

本年も好天に恵まれ、会員以外の方を含め50名の参加があり、29種の野鳥が観察された。あちこちでガビチョウの声を聞かされたが、囀るクロツグミが姿を見せ、オオルリもキャンプ場跡付近とさらに上流側の林道で声と姿を鑑賞できた。また、コゲラは林道真上の樹上に長く留まってくれた(粕谷)

⑩5月17日(土): 早朝探鳥会

場所: 高尾山

確認した野鳥

キジバト アオゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ ヒヨドリ ヤブサメ ウグイス メボソムシクイ センダイムシクイ キビタキ オオルリ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト ガビチョウ(26種)

本日のベスト: イワツバメ メボソムシクイ キビタキ オオルリ

鳥仲間

粕谷和夫 門口一雄 倉本修 佐藤サヨ子 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子(7名)

担当者の記録

小雨の天気予報の中探鳥会を決行した。高尾山駅前のイワツバメ集団が巣を狙ったハシボソガラスを追い払ったのが圧巻でした。一号路から四号路を通って山頂までメボソムシクイ、キビタキ、オオルリが見られた。終了後、視覚障害者とそのボランティア団体である四季の会の人たちにバードリスニングを楽しんでいただいた。

⑬ 5月24日(土)～25日(日): 遠出探鳥会

場所: 奥日光

確認した野鳥

オシドリ マガモ ヒドリガモ トビ イヌワシ ハイイロチュウヒ オオジシギ キ  
ジバト シュウイチ カッコウ ツツドリ ホトトギス アマツバメ アカゲラ コゲ  
ラ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ モズ カワガラス ミソサザ  
イ コマドリ コルリ ルリビタキ ノビタキ ウグイス メボソムシクイ エゾムシ  
クイ センダイムシクイ キクイタダキ キビタキ エソビタキ コサメビタキ エナ  
ガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ ホオ  
アカ アオジ ニュウナイスズメ スズメ コムクドリ ムクドリ カケス ハシブト  
ガラス コジュケイ (51種)

鳥仲間

阿江範彦 青木静子 石橋公子 今井達郎 粕谷和夫 佐藤サヨ子 白川司 白川史子  
傍島玲子 田中英吉 長谷川篤 長谷川典子 原田佳世 細田富美代 横山由美子 山  
崎悠一 柚木育子 若狭誠 (18名)

参加者の感想

奥日光の雄大な自然の中で、同行の皆さんにいろいろと教えてもらいながら、「探鳥」に浸り楽しむことができた2日間でした。奥日光ならではの鳥にたくさん出会えた中で、私にとっては初めての「カワガラス」を近くでじっくり見られたこと、戦場ヶ原の澄み切った空気にしみわたるような「カッコウ」や「アオジ」の声、2羽のオス「アカゲラ」が、縄張り争いなのかチョコチョコと動き回る姿などが、特に印象に残っています。

また、今回は、「聞き分け」が多少なりともできろように、と行って参加したのですが、実際に聞いてみると、ますます迷うことばかりで、とにかく、まず、「より多くの声に慣れ親しむこと」かな、と思いました。

ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします(長谷川篤)

担当者の記録

カワセミ会は今までに何回も奥日光で探鳥会を行ってきたが、刈込湖までは足を伸ばしていなかった。JR八王子駅を6時15分に発車した日野観光のマイクロバスは10時20分、奥日光刈込湖登山口に到着した。金精峠方向の尾根の枯木に1羽のワシタカが止まっていたが直ぐ飛び立ったどうもイヌワシらしい。今回の探鳥会はこのイヌワシで始まり、2日目の最終、湯の湖でのコルリで締めくくった。

(粕谷)

⑭6月7日(土):遠出探鳥会

場所:三頭山(都民の森)

確認した野鳥

ジュウイチ ツツドリ ホトトギス コゲラ キセキレイ ミソサザイ コルリ マミ  
ジロ ヤブサメ ウグイス センダイムシクイ キクイタダキ キビタキ オオルリ  
ヒガラ ヤマガラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ イカル カケス ハシボソガラ  
ス(22種)

本日のベスト:ミソサザイ ヤブサメ キクイタダキ

鳥仲間

井形定子 石橋公子 井手龍世 今井達郎 大川征治 大川香 小川清成 門口一雄  
河田徳子 久保田ヤス子 佐伯直寛 佐藤サヨ子 白川司 白川史子 傍島玲子 永見  
博子 長谷川篤 長谷川典子 平井国二 福井秀雄 矢崎恵美子 山崎悠一 河田

(23名)

参加者の感想

都民の森から三頭山頂上まで。ミソサザイ、オオルリ、ヒガラと共にマミジロの  
鳴き声が素敵でした。

⑮6月28日(土)~29日(日):遠出探鳥会

場所:雲取山~三峰山

確認した野鳥

カワウ トビ ジュウイチ ツツドリ ホトトギス アマツバメ コゲラ イワツバメ  
キセキレイ ピンズイ ヒヨドリ ミソサザイ コマドリ コルリ ルリビタキ トラ  
ツグミ ウグイス メボソムシクイ エゾムシクイ キクイタダキ キビタキ オオル  
リ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ ホオ  
ジロ クロジ カワラヒワ ウソ イカル カケス ホシガラス ハシブトガラス ガビ  
チョウ(38種)

鳥仲間

青木静子 青木良江 石橋公子 今井達郎 大川征治 大川香 門口一雄 門口裕子  
河田徳子 菊池昇 倉本修 杉森ユリ 傍島玲子 千葉楨子 永見博子 原田佳世 細田  
富美代 丸山二三夫 森松幹治 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 横松あつみ

(23名)

参加者の感想

東京都の最高峰雲取山(2017m)への道のりは鴨沢バス停(600m)から  
始まった。ピンズイ、ミソサザイ、コマドリ、コルリ、ルリビタキなどが印象に  
残った。雲取山荘から三峰山を経て下山。

# 鳥信 (主として2003年1月~6月)

今期は722件が鳥信データベースに登録された。

以下はスペースの関係で、登録情報のうち、希少種、猛禽、鳴千鳥、託卵鳥、繁殖情報だけである。

(この他に冬鳥の終認、夏鳥の初認、野鳥の行動、渡り鳥の通過、時、飼育下の野鳥、野鳥の事故、帰化鳥他の情報が登録されている)

## 1. 希少種

カイツブリ	2003/1/28	4	多摩川桜並木前、7:54、オオタカの見張り木下を四羽の群れが泳ぐ。内一羽は頭と背中がを除き、ほとんど真っ白な白化個体。以前、新旭橋下流を見たものと同一個体か。写真撮影する。	神谷古牧	立川1C
カイツブリ	2003/3/20	1	多摩川谷地川合流部、7:48、ここで見るのは久しぶり。	神谷古牧	立川1B
カイツブリ	2003/6/14	1	多摩川ひょうたん池、10:10、当所で久し振りに確認。	神谷古牧	立川0C
カワウ	2003/2/5	1羽	小仏川・蛇滝橋よりさらに上流方面に飛んでいった。	粕谷和夫	八王子0G
ササゴイ	2003/6/2	1羽	浅川・高幡橋上流	青木繁昌	武蔵府中2K
ササゴイ	2003/6/15	1羽	高月町 多摩川、秋川合流部	古山 隆	拝島6E
アマサギ	2003/5/16	1羽	高月町、高月水田(浄水場より南の田)	粕谷和夫	拝島6E
アマサギ	2003/6/23	7羽	浅川・晩橋南側の市街地方向から現れ7羽が固まりになって浅川を超え小宮公園方面に飛び去った。嘴、頭部の橙黄色が良く見えた。	倉本修	八王子7K
アオサギ	2003/4/13	7羽	八王子市西寺方町、北浅川左岸生寺緑地付近、モミの木に7羽、婚姻色有り	探鳥会(粕谷和夫他)	拝島2B
オシドリ	2003/3/20	2羽	高月浄水場♂1♀1	粕谷和夫	拝島6F
オシドリ	2003/6/8	1羽	北浅川・元木橋下流100m付近。夏羽の綺麗な♂	定期CT(丸山二三夫)	拝島1B
アメリカコガモ	2003/4/1	1羽	高月浄水場の池、コガモ10羽の中に♂1羽	粕谷和夫	拝島6E
アメリカコガモ	2003/4/4	1羽	高月浄水場、2羽から30羽のコガモの群れの1羽	大川征治	拝島6E
トモエガモ	2003/3/20	1羽	高月浄水場♂1	粕谷和夫	拝島6F
ヨシガモ	2003/3/9	1羽	10:40、浅川・平山橋下流50m、状況：ヒドリガモの群れに混じり、ヨシガモ♂1羽、光沢のある緑の頭がきれいだった。	佐藤哲郎	武蔵府中0H
アメリカヒドリ	2003/1/11	1羽	浅川・一番橋下流200m左岸(完全な色模様ではない)	門口一雄他	武蔵府中1K
コジュケイ	2003/6/4	1羽	八王子駅北口、マルベリーブリッジ下の分離帯にコジュケイがいました。大型スクリーンに近い低木の植え込みの脇を1羽であるいていましたが、まもなく植え込みの中に消えました。交通量が激しいですが、人が入らないところで桑グミも茂みも多いので、もしかしたらここで繁殖しているのかもしれない。	若狭誠	八王子7J
ヤマドリ	2003/2/6	1羽	高尾・多摩森林科学園、11時30分ごろ 園内「遠見道りと昭和林道の接点、あずまやの東斜面、♂1羽、やまざらの傾斜地をゆっくり登りながら探餌、数分後に林内へ去る。	川上憲他	八王子2H
クイナ	2003/1/11	1羽	浅川・一番橋下流右岸桜並木前のワンド	門口一雄他	武蔵府中1J
クイナ	2003/3/6	1羽	北浅川・陵北大橋下流の木橋横の池	大川征治	拝島2B
クイナ	2003/3/30	1羽	浅川・一番橋下流	青木繁昌	武蔵府中2K
クイナ	2003/4/19	1	多摩川ひょうたん池、10:19、池の東側の端に居て、すぐに葦の間に消える。	神谷古牧	立川0C
クイナ	2003/4/22	1羽	浅川・浅川橋下流の水管橋下のワンド(右岸)	倉本修	八王子7K
バン	2003/1/13	1羽	10:25、浅川右岸・長沼橋下流側(右岸土手道の突き当たり)、状況：しばらく中州に上がったり、泳いだりしていた。額板が赤くないので、若鳥と思われる。昨日(1/12)長沼橋上流側左岸湿地で観察した個体も額板が赤くなかったので、同一個体の可能性もある。	佐藤哲郎	八王子9G
バン	2003/1/25	1羽	浅川・長沼橋上流側左岸湿地、若鳥	粕谷和夫	八王子9H
バン	2003/3/15	1	多摩川ひょうたん池、10:20、久しぶりに姿を確認。小雨が降っていて、釣り人が居なかった。	神谷古牧	立川0C
バン	2003/6/14	1	多摩川ひょうたん池、10:10、当所で久し振りに確認。視認は一羽だが、声は複数。	神谷古牧	立川0C
バン	2003/6/15	1	多摩川平の堰、18:30、中州の岸辺を泳いでいた。	神谷古牧	拝島8C
ユリカモメ	2003/3/14	1	多摩川中央線鉄橋、8:31、上流へ向かう。今季は珍しい。	神谷古牧	立川1B
コアシサン	2003/6/15	1羽	PM3:00頃 多摩川中央線鉄橋下流100mぐらいの所で、盛んに水の中に飛び込んで餌をとっていた	関根伸一	立川2B
アオバト	2003/2/8	1羽	南浅川・浅川支所裏の浅川の滝でカワガラスをみていたら 前の杉の中段にアオバトが1羽枝に止まっていた	関根伸一	八王子2G
アオバト	2003/2/23	6羽	高尾・多摩森林科学園、2羽が園の奥の木に止まっていたが、その後6羽が観察路の上空を横切る	支援探鳥会(粕谷和夫他)	八王子2H
アオバト	2003/2/23	5羽	甘里町、多摩森林科学園の桜の木に2羽止まって見られたが飛び出しは5羽	支援探鳥会(大川征治他)	八王子2H
アオバト	2003/4/27	声	八王子市片倉町字只、谷戸の雑木林の中から声が聞こえてきた	粕谷和夫他	八王子7F
アオバト	2003/5/18	声	美山町、天台峰	粕谷和夫	拝島1C
アオバト	2003/5/25	1羽	高尾山・大平林道中程で北方向から鳴声を確認	川上憲他	与瀬9E
アオバト	2003/6/7	声	上恩方町、醍醐盆堀林道	粕谷和夫	五日市6B
アオバト	2003/6/9	4羽	高尾山日影・与瀬9E2羽 8F2羽 それぞれ鳴き声と飛んでいる姿で確認した。	白川司・史子	与瀬8F9E
ヒメアマツバメ	2003/1/1	6	多摩川中央線鉄橋、12:07、上空を飛翔。持っていたデジカメで、かろうじて姿をとらえる。	神谷古牧	立川1B
ヒメアマツバメ	2003/3/9	4	多摩川桜並木、13:50、強風の中、上空を舞い飛ぶ。	神谷古牧	立川1B
ヒメアマツバメ	2003/3/23	1巢	京王高尾線・北野駅西側高架下コンクリートの溝の所、イワツバメの巣約10個の内の1巢の出入り口に羽が着いていた	粕谷和夫	八王子8H
ヒメアマツバメ	2003/6/13	2羽	八高線小宮駅、8:40、上空を二羽が舞う。	神谷古牧	拝島9B
カワセミ	2003/5/2	1羽	八王子市打越町、北野台わかば公園、調整池	粕谷和夫	八王子8F
カワセミ	2003/5/3	1羽	八王子市片倉町、片倉城跡公園南西側の八王子ニュータウン造成中の名称の無い調整池	粕谷和夫他	八王子6G
ブッポウソウ	2003/6/6	1羽	観察者：川口悠太、場所：八王子市高尾の国道20号沿い。京王線高尾山駅~梅の木平の間。午前8時頃。	南波興之	八王子1E

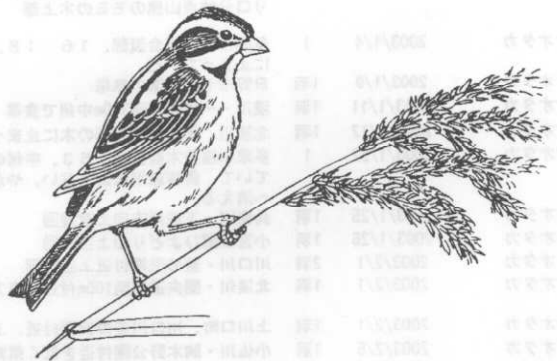


アリスイ	2003/3/16	1羽	谷地川・新旭橋近くのダム下流約500mの左岸の川に近い地面で採食した後木に止まる。情報だとしばらく前から時々来ていたようです。	大川征治	立川0C
アリスイ	2003/3/16	1羽	谷地川下流ダムの多摩川寄り500mの左岸、地面で採餌後木に止まる	大川征治	立川0C
アオゲラ	2003/2/10	1羽	滝山公園霞神社、ドラミング	新田茂	拝島6D
アオゲラ	2003/3/6	1羽	八王子市みついつ台隣接雑木林	新田茂	拝島6B
アオゲラ	2003/3/26	1羽	八王子市川口町熊野神社	新田茂	拝島1C
アカゲラ	2003/1/30	1羽	八王子市役所のサクラの木へ来て採餌、2/3も同地で観察	福島弥四郎	八王子5K
アカゲラ	2003/2/2	3羽	北浅川・松枝住宅付近の河原で2羽、陵北大橋下流木の橋付近の河原で1羽	探鳥会	拝島3B
アカゲラ	2003/2/5	1羽	高尾山・蛇滝林道入り口から約400m地点	粕谷和夫	八王子0F
アカゲラ	2003/2/10	2羽	滝山丘陵霞神社	新田茂	拝島6D
アカゲラ	2003/2/13	1羽	日野市七生公園	青木繁昌	武蔵府中
アカゲラ	2003/2/16	1羽	天合峰・松木入り、杉と梅の木に止まる	粕谷和夫他	拝島0C
アカゲラ	2003/3/6	1羽	八王子市谷野町浅間神社付近	新田茂	拝島5C
アカゲラ	2003/3/9	1羽	佐藤サヨ子自宅の裏山、木から木へ飛んでいた。穴を開ける木をさがしていたのかもしれない。環境は団地第二緑地で、日野第三中学校の裏側、小高い丘になっており反対側に住宅地と明星大学、そして七生福祉園があります。私が何時も歩くのは中学の裏門から頂上に出て途中の獣道のような所に入り明星大学の裏門にでて、そこから福祉園の敷地を通って裏山の二段目の道に出ます。今は明星大学の裏にはブルドーザーが入っているため頂上の奥のところが獣道に入ります。この二段目の道の所でアカゲラに出会いました。	佐藤サヨ子	武蔵府中3H
アカゲラ	2003/5/18	1羽	高幡台団地第2緑地(日野市程久保529-4~) ちょっと散歩のつもりで裏山に行ってみると、ウグイスとガビチヨウの合唱が聞こえてきました。それでその辺にいるのかな?とと思って双眼鏡で覗くとなんとアカゲラが目に入って来ました。	佐藤サヨ子	武蔵府中3H
ヒバリ	2003/4/30	1羽	12:30 みなみ野小学校東側の空き地でホバリング	山崎悠一・久美	八王子7G
ヒバリ	2003/6/23	1羽	浅川・鶴巻橋下流の右岸草地上空で囀っていた	倉本修	八王子5K
ツバメ	2003/7/24	1羽	ツバメのアルビノ(白化)をみました。PM 7.00、場所:日野堰、ツバメの観察をしているとき、なかに1羽のアルビノがいました。薄暗くなつても飛んでいるところがすぐわかりました。最後に、前のあしに止まり全員で確認をしました。参加者、佐伯、関根、近所のひと	関根伸一	拝島8C
ビンズイ	2003/1/10	3羽	薬科大オゾロビタキ出たところ	大川征治	武蔵府中0G
ビンズイ	2003/2/25	1羽	小宮公園内の林内の落ち葉採りが終わった林床で採食していた	大川征治	拝島7A
ビンズイ	2003/4/29	数羽	小宮公園、コナラの木の上で数羽が囀っていた。	大川征治	拝島7A
キレンジャク	2003/3/29	1羽	小宮公園、ヒレンジャクが、元気農場から木道のロータリーの方まで飛び回っていました。ヒレンジャク7羽と共に「キレンジャク」が1羽いっしょにいました。	山崎悠一・久美子	拝島7A
キレンジャク	2003/3/30	2羽	小宮公園、ヒレンジャク12羽に混じり2羽、28日から31日まで見られたようだ。すぐに通過せず木の芽を食べたりして公園付近に数日滞在。昨年も見られたが滞在は確認せず	大川征治他	拝島7A
キレンジャク	2003/3/30	2羽	CV2、小宮公園	馬場百合亜・裕	拝島7A
ヒレンジャク	2003/1/2	1	谷地川田島橋、11:50、下流左岸の民家にある柿の木に、数十羽のヒヨドリと、十羽ほどのツグミが群がっていて、その中に一羽のヒレンジャクが居た。当地初認。	神谷古牧	拝島9B
ヒレンジャク	2003/2/20	1羽	日野市、黒川清流公園。ヤドリキの実を食べていた	大川征治、香	武蔵府中1K
ヒレンジャク	2003/3/2	1羽	黒川清流公園、(11:00、快晴)、ケヤキの木に寄生するヤドリキの実をついばんでいました。	宮越俊一	武蔵府中0K
ヒレンジャク	2003/3/4	9羽	ヤドリキの実を食べては付近に止まっていたが後1羽を残して飛び去った	大川征治	武蔵府中1K
ヒレンジャク	2003/3/9	1羽	黒川清流公園	佐藤サヨ子	武蔵府中0K
ヒレンジャク	2003/3/28	6羽	小宮公園頂上の元気農場横柳で新芽を食す	定期CT (大川征治他)	拝島7A
ヒレンジャク	2003/3/30	15羽	小宮公園・15羽くらいいて、公園の中心と元気農場あたりと弁天池から駐車場付近の3ヶ所で目撃しました。公園内のかなり広範囲を移動してる様ですね。残念ながら私達は見つけられなかったのですが、同じ群れを別のところから見ていた方が、キレンジャクも混じってたとおっしゃっていました。	中村美弥子	拝島7A
ヒレンジャク	2003/3/30	12羽	CV12、小宮公園および日谷戸の疎林の周囲で盛んに樹芽をついばむ。	馬場百合亜・裕	拝島7A
カワガラス	2003/3/23	2羽	北浅川・案下川沿いで、2羽を同時に見られました。いつも営業する場所は今年は水が多いからでしょうか、少し上流で川面を飛ぶのが見られまし	清水盛通	与瀬5K
カワガラス	2003/3/23	1羽	北浅川・醍醐川沿いでは、巣に戻ってくる1羽を確認しました。橋の上から見ていましたが人影を見つけたせいでしょかリターンして川下に飛び去りました。	清水盛通	五日市6A
ミソササイ	2003/2/6	1羽	北浅川・陵北大橋下の水路で小さくさえずる	大川征治	拝島1B
ミソササイ	2003/4/8	1羽	小宮公園突き当たり木道ロータリーの下から出て木の幹に止まる	大川征治他	拝島7A

カヤクグリ	2003/1/8	2羽	坂当林道・入り口から1800mの林道終点付近の地上に2羽。	粕谷和夫	与瀬8J
カヤクグリ	2003/1/16	1羽	小宮公園H5年萌芽更新地 テリリ テリイとなき採餌	大川征治	拝島7A
カヤクグリ	2003/1/20	1羽	小宮公園小川最上部で水浴して枝に止まり羽繕い	大川征治、香	拝島7A
カヤクグリ	2003/3/12	3羽	小仏川・蛇滝橋下流側約200mの二つ手前の無名橋付近の林内	粕谷和夫	八王子0G
カヤクグリ	2003/1/16	1羽	小宮公園・木道ロータリー横の平成5年萌芽更新地の斜面。アオジ、ホオジロと一緒に採餌、地面の藪からなかなか上に出てこないで移動する。テリリ テリリと時々鳴いていた。たまたま出たのをデジカメ写真で撮り確認しました。	大川征治	拝島7A
	2003/1/20		1月20日12時30分小宮公園小川最上流の木道ロータリー内側の小さな流れでカヤクグリ1羽の水浴びを見つける。その後木に移りしばらく羽繕いしていたが再び水浴びして木に止まり羽繕いしながらツリリ、ルリリりと今日は盛んに鳴く。その後平成10年萌芽更新地(平成5年の隣接地)の斜面方面に飛び去った。		
ルリビタキ	2003/1/3	1羽	薬科大の公園より 青の濃い成鳥雄	大川征治	武蔵府中0G
イソヒヨドリ	2003/2/26	1羽	♀、谷地川・新旭橋近くの左岸くぼ地、草地で採食したり杭にとまったりを繰り返していた。以前もこの付近で見られたようです。	大川征治	立川0C
イソヒヨドリ	2003/2/26	1羽	谷地川下流ダム横のくぼ地で草地で採食したり杭に止まったりしていた	大川征治、香	立川0C
イソヒヨドリ	2003/3/1	1羽	谷地川下流ダム横のくぼ地で草地で採食	大川征治	立川0C
イソヒヨドリ	2003/3/16	1羽	♀、谷地川・新旭橋横のくぼ地で採食を採っていたがチョウゲンボウが襲ったため隣の工場の影に逃げ込んでしまった。	大川征治	立川0C
イソヒヨドリ	2003/4/30	1羽	城山川、am6.00。開戸中橋上流50m。中央高速と城山川が交差している所、下腹が茶色で背中が青色のきれいな色おしていました。	関根伸一	八王子4K
トラツグミ	2003/1/16	1羽	小宮公園・弁天池横の小川から飛んで低い木に止まったがすぐに藪に入られた。	大川征治	拝島7A
トラツグミ	2003/1/17	1羽	小宮公園弁天池横	大川征治	拝島7A
トラツグミ	2003/1/19	1羽	明星大学との境にあるフェンスの向こうで斜面のところからヒヨドリらしい鳥が飛立つと続いて2羽のキジバトが飛立ったのもっと何かいるかな?と思っで双眼鏡を覗くとトラツグミがいましたがすぐいなくなりました。	佐藤サヨ子	武蔵府中3H
トラツグミ	2003/1/21	1羽	小宮公園管理事務所横	大川征治	拝島7A
トラツグミ	2003/1/25	1羽	小宮公園	古山 隆	拝島7A
トラツグミ	2003/2/5	1羽	高尾山頂西側直下の湿地、シロハラ1羽と一緒に	粕谷和夫	与瀬9E
トラツグミ	2003/3/12	1羽	南高尾・中沢川、うかい鳥山から約300m入った梅林	粕谷和夫	八王子0D
トラツグミ	2003/3/13	1羽	日野市高幡台団地散歩中足元の茂みより7m先の道路に着地	青木繁昌	武蔵府中3H
トラツグミ	2003/3/14	1羽	八王子市高月配水池南側	新田茂	拝島5E
トラツグミ	2003/3/21	1羽	高尾山・日影沢、1羽がいろはの森炭焼き場から50m下流の沢筋左岸、落ち葉の中で採餌していた。	白川司	与瀬9F
トラツグミ	2003/3/21	1羽	高尾山・いろはの森炭焼き場から50m下流の沢筋左岸、落ち葉の中で採餌していた。	白川司・史子	与瀬9F
トラツグミ	2003/3/28	1羽	小宮公園・ユウカリ林横の芝生でツグミ数羽と一緒に。この他ビンズイ、ルリビタキなど合計30種、カシラダカがこならの木でひばりの声のようなこえでぐずっていた。	大川征治	拝島7A
トラツグミ	2003/3/28	1羽	小宮公園、ユウカリ林横斜面芝生でツグミ数羽と採食、29日、4月1日にはトラツグミ2羽見られた	定期GT (大川征治他)	拝島7A
トラツグミ	2003/4/24	1羽	小宮公園、以前から声があったが今日は大きな声で鳴いていた。	大川征治他	拝島7A
トラツグミ	2003/4/25	1羽	小宮公園、弁天池南大谷緑地で大きな声で鳴く	大川征治	拝島7A
トラツグミ	2003/4/29	声	小宮公園、声が大きくしばらくの間聞こえていた。少し前から聞こえてはいたが今日はいつもより声が大きく	大川征治	拝島7A
トラツグミ	2003/5/25	1羽	高尾山・大平林道上の作業員小屋東側林内付近で声	川上恵他	与瀬9E
トラツグミ	2003/6/21	1羽	高尾山・大平林一丁付近の林内で鳴き声ヒーヒー	川上恵他	与瀬8E
アカハラ	2003/1/19	2	多摩川桜並木前、9:00、河原の林に1羽。この日はひょうたん池でももう一羽。	神谷古牧	立川1B
アカハラ	2003/1/21	1羽	小宮公園管理事務所横	大川征治	拝島7A
オオアカハラ	2003/2/19	1	東光寺グランド、7:52、グランド前にある河原の林で。頭が真っ黒。	神谷古牧	立川0C
アカハラ	2003/3/12	1	東光寺グランド、8:08、グランド下流側河川敷で、翼を下げ、尾を跳ね上げて藪の中を移動していく。スズメの求愛行動と同じ格好。	神谷古牧	立川0C
アカハラ	2003/3/20	1羽	多摩川右岸河口から4.8km地点河川敷、高月多摩川自然観察路	粕谷和夫	拝島6E
アカハラ	2003/3/25	1	多摩川桜並木、8:12、河原内の灌木にいたが、降りて茂みに消える。	神谷古牧	立川1B
アカハラ	2003/4/25	1羽	小宮公園、弁天池横でキョロンキョロンと鳴く	大川征治	拝島7A
アカハラ	2003/4/29	数羽	小宮公園・弁天池横の斜面の木で数羽がキョロンキョロンと鳴っていた。ここで聞くのは珍しい	大川征治	拝島7A
アカハラ	2003/5/3	1羽	八王子市南大沢1丁目、都立大学松木日向緑地	粕谷和夫	武蔵府中0D
アカハラ	2003/5/4	10羽±	八王子市滝山町1丁目、滝山丘陵雑木林内地上で採餌	粕谷和夫	拝島7C
アカハラ	2003/5/9	1羽	八王子市緑町、緑町公園	粕谷和夫	八王子6H
アカハラ	2003/5/29	1羽	日野市程久保650、高幡橋台団地、裏山(団地第2緑地)に早朝入ってみました。クモの巣を払いのけながら明星大学の裏にでてみると、アオジが急いで隠れるのを見えました。裏山との境にある七生福祉園の教師たちの住む建物の前に出ると2羽の鳥がいて双眼鏡で見ると1羽はアカハラでした。冬の間中、シロハラは良く見かけたもののアカハラは今日が初めてでした。	佐藤サヨ子	武蔵府中3J
オオヨシキリ	2003/5/13	1羽	北浅川・八王子福祉園のあたりでなっていました	柚木育子	拝島1A
オオヨシキリ	2003/5/19	1羽	18時頃、高尾町1737八王子市立高尾保育園西側の南浅川に面した竹藪で、オオヨシキリ1羽が囀っているのを見ました。この場所でオオヨシキリは始めてです。	横山由美子	八王子2G

クウイタダキ	2003/1/8	4羽	板当林道・入り口から800m付近の混群の中に2羽、1500m付近に	粕谷和夫	与瀬9K、9J
クウイタダキ	2003/1/10	1羽	高尾山・3号路、かしの木園地より下へ300m位の南斜面の杉の木	木村晴美他	八王子9E
クウイタダキ	2003/1/19	2羽	天合峰・紙屋入り、シラカシの中にいた	粕谷和夫他	拝島1B
クウイタダキ	2003/2/8	1羽	高尾山2号路丸太の急階段途中の樹上に一羽枝から枝に移動しながら探	定期CT	与瀬9E
クウイタダキ	2003/2/15	2羽	高尾山日影・与瀬9F1羽、与瀬8F1羽 いずれもカラ類との混群の中	(倉本修他) 白川司・史子	与瀬8F9F
クウイタダキ	2003/3/14	1羽	高尾山6号路大山橋100m上の樹上	定期CT	八王子0E
クウイタダキ	2003/3/14	3羽	高尾山3号路上部から300mの樹上	(倉本修他) 定期CT	与瀬9E
クウイタダキ	2003/3/15	1羽	天合峰・紙屋入東側の尾根で姿視認	(倉本修他) 千葉慎子	拝島1C
キビタキ	2003/5/7	1羽	八王子川口町、宝生寺緑地保全地域の東隣丘陵、♂1羽	粕谷和夫	拝島2C
キビタキ	2003/5/18	1羽	小宮公園では、今日も美しい声でさえざるキビタキの姿を見ることができ ました(10:30ころ、木道周辺)。	宮越俊一	拝島7A
オジロビタキ	2003/1/2	1羽	14:45~15:00の間、東京薬科大学構内(大学生協東側林内)、 (♀)1羽	川上悉	武蔵府中1G
サンコウチョウ	2003/5/18	声	美山町、天合峰	粕谷和夫	拝島0C
サンコウチョウ	2003/5/24	2羽	板当林道で1羽(♂)に出会い、駒木野林道で1羽(♂)と1つがいを見 ることができましたが、昨年までと較べ数が少ないようです。サンコウ チョウは他の夏鳥と比べ少し遅い渡りや営巣時期ですのでこれからを期待 したいと思います。	清水盛通	与瀬8K9K
サンコウチョウ	2003/6/6	1羽	高尾山6号路第1ベンチ山側で囀り	定期CT	八王子0E
エナガ	2003/4/24	2	八王子市石川町自宅、7:35、鳴きながら我が家のアメリカハナミズキ の木や電線に止まる。	(木村晴美他) 神谷古牧	立川0B
ゴジュウカラ	2003/2/5	2羽	高尾山・4号路といろはの道出会い付近、シジュウカラ、ヤマガラ、エナ ガ、メジロ、コゲラの混群の中	粕谷和夫	与瀬9E
カシラダカ	2003/3/22	30+	日野市新町、9:50、刈り取られた草地で捕食。	神谷古牧	立川1B
クロジ	2003/1/8	2羽	板当林道・入り口から450m付近の松の林の下。	粕谷和夫	与瀬9K
クロジ	2003/1/13	3羽	高尾山・日影沢林道入り口から100m左側に2羽、キャンプ場から200 m上流左側に1羽を視認した。	白川司・史子	与瀬9F
クロジ	2003/2/5	1羽	高尾山・♂1で蛇滝上の登山道脇の地上	粕谷和夫	八王子0F
クロジ	2003/2/8	1羽	高尾山3号路大山橋手前50m位のところ♂1羽山側斜面の地上で探餌、 近くにシロハラがいた。全体に灰黒色の羽毛、嘴の肉色(特に下嘴)で謎	定期CT	八王子0E
クロジ	2003/2/15	4羽	高尾山・日影沢林道入り口から100m付近左側に2羽、キャンプ場手前左 側に1羽、さらに200m上流左側に1羽を確認した。	(倉本修他) 白川司・史子	与瀬9F
クロジ	2003/3/6	4羽	上恩方町・駒木野林道入り口(アオキの下)	粕谷和夫	与瀬8K
クロジ	2003/3/12	2羽	高尾山・蛇滝〜ケーブル山上駅間登山道沿いの林の中	粕谷和夫	八王子0F
クロジ	2003/3/14	12羽	高尾山6号路第1ベンチ50m下に4羽、6号路第2ベンチ50m下に3羽、6 号路第2ベンチ100m上に2羽、6号路大山橋150m上に2羽、3号路上 部から500mに1羽の計12羽(♂5羽、♀4羽、♂第1回冬羽3羽)が地 面で探餌	定期CT (倉本修他)	八王子0E
クロジ	2003/3/24	4羽	高尾山一号路ガードレールより手前の左斜面、クロジ4羽が藪の中で探餌	原田佳世	八王子1F
クロジ	2003/4/4	10羽	高尾山・6号路大山橋の手前沢側で、10羽のクロジの群が地面で探餌し ていた	若狭誠他	八王子0E
クロジ	2003/4/4	2羽	高尾山6号路下から300mの山側で♂2が地上で探餌	定期CT(千葉慎子 他)	八王子1E
クロジ	2003/4/4	11羽	高尾山6号路大山橋手前300m沢側に10羽、6号路大山橋手前200 m沢側に1羽の計11羽(♂4、♀5、若鳥2)が地上で探餌	定期CT (千葉慎子他)	八王子0E
クロジ	2003/4/23	1羽	八王子市高倉町、高倉南公園、♂1、シロハラ1羽とともにいた	粕谷和夫	八王子9K
オオジュリン	2003/1/7	5羽	浅川・鶴巻橋〜萩原橋、4中裏の河原	福島弥四郎	八王子5K
オオジュリン	2003/1/19	4	谷地川浄化施設、10:30、施設の裏から多摩川の土手に上がったスス キの根方にやってきた。これぞオオジュリンと言うのは久しぶり。	神谷古牧	立川0C
オオジュリン	2003/2/26	1羽	谷地川下流右岸ススキの鞘で探食していた。	大川征治、香	立川0C
オオジュリン	2003/3/1	1羽	谷地川下流右岸ススキ	大川征治	立川0C
アトリ	2003/2/3	十数羽	八王子市役所のサクラの木	福島弥四郎	八王子5K
アトリ	2003/2/5	30羽	高尾山頂北西側直下で地面に降りて落ち葉をひっくり返し探餌中、10m くらい近づくと逃げなかった	粕谷和夫	与瀬9E
アトリ	2003/2/18	10羽	浅川・萩原橋下(同時にツグミ5、ヒメアマツバメ20)	福島弥四郎	八王子6K
アトリ	2003/2/21	1羽	滝山城址公園引橋横、ホオジロカシラダカの群れに混じる	大川征治新田茂	拝島6D
アトリ	2003/3/12	1羽	南高尾・中沢川、うかい鳥山から約1km入った梅林	粕谷和夫	八王子0D
アトリ	2003/3/22	6羽	11時、平山城址公園(東屋右手)、6羽の内1羽は夏羽、カシラダカ (15羽)と地上探餌	原田佳世	武蔵府中0G
アトリ	2003/3/23	30羽	日野市多摩平団地の木に30羽ほどのアトリの群をみました。隣接する黒川 清流公園のヤドリギの実は残り少いでヒレンジャクはいませんでした。ハ シントガラスとオナガが多く、カラスの巣が2個ありました。	若狭誠	武蔵府中0K
アトリ	2003/4/3	25羽	高尾山、4号路のつり橋の下にアトリが25、6羽いました。	佐藤サヨ子	八王子0E

マヒワ	2003/1/8	60羽	板当林道・入り口から300m付近に約40羽の群、800m付近の混群の中に約20羽。	粕谷和夫	与瀬9K
マヒワ	2003/1/8	数羽	浅川・鶴巻橋～萩原橋、4中裏の河原、ゲートボール場隣の草叢	福島弥四郎	八王子5K
マヒワ	2003/1/10	20羽	高尾山・琵琶滝南を群で飛んでいた	木村晴美他	八王子0F
マヒワ	2003/1/13	230羽他	高尾山・230羽、与瀬8F 35羽、与瀬8E 29羽が移動しながら主として杉の実を啄ばんでいた。8F及び8Eはカラ類との混群であった。	白川司・史子	与瀬8E8F9F
マヒワ	2003/1/18	130羽	高尾山・大平林道の中程の作業休憩小屋前の杉の木、大群、杉の黄色い実を捕食していた	川上憲	与瀬8E
マヒワ	2003/2/1	1羽	北浅川・恩方第1小学校前、北浅川右岸	定期CT (丸山二三夫)	八王子0K
マヒワ	2003/2/2	150羽	板当林道・入り口から750mで約30羽上空群飛、1100m付近で約20羽エナガ、シジュウカラの混群の中、1550m付近で約100羽カワラヒワ約20羽と混群で杉の木の上部に止まり糞果を突いていた。	粕谷和夫	与瀬9K
マヒワ	2003/2/5	100羽	小仏川・蛇滝橋下流約100m付近、杉に止まり糞果を突いていた	粕谷和夫	八王子0G
マヒワ	2003/2/5	50羽	高尾山・蛇滝林道入り口から約400m地点で上空を群飛。アカゲラ1羽、ウソ2羽も同所で観察。	粕谷和夫	八王子0F
マヒワ	2003/2/8	6羽	高尾山3号路大山橋上流100m位の樹上に2羽、2号路丸太の急階段下の樹上に4羽、枝から枝へ移りながら採餌	定期CT (倉本修他)	八王子0E
マヒワ	2003/2/15	30羽	高尾山・大平林道ふれあい館東約100mの南側杉の木に集団で杉の黄色い実を食べていた	川上憲	与瀬9E
マヒワ	2003/2/15	100羽他	高尾山日影・100羽が日影沢林道入り口から50m～150m付近を採餌しながら移動。キャンプ場右奥の手入れされた植林地で46羽がカワラヒワ達と地上で採餌中。また、いろは坂では30羽がカラ類との混群で移動していた。	白川司・史子	与瀬9F
マヒワ	2003/2/16	100羽	天合峰・谷戸の沖30羽、紙屋入70羽	粕谷和夫他	拝島0C1C
マヒワ	2003/3/6	4羽	城山湖頂上部の木の芽を食す	丸山二三夫、 大川征治	八王子2C
マヒワ	2003/3/12	20羽	高尾山・1号路、登山口に入って直ぐの杉並木	粕谷和夫	八王子1F
マヒワ	2003/3/14	9羽	高尾山6号路大山橋100m上の樹上	定期CT (倉本修他)	八王子0E
マヒワ	2003/3/14	8羽	高尾山3号路上部から300mの樹上	定期CT (倉本修他)	与瀬9E
マヒワ	2003/3/21	273羽	高尾山・日影沢、大群で与瀬9F・8Fを移動しながら盛んに採餌していました。	白川司	与瀬9F、8F
マヒワ	2003/3/26	30羽	高尾山・大平林道ふれあい館南側の杉の木で採餌	川上憲	与瀬9E
マヒワ	2003/3/28	15羽	小宮公園・クヌギ林で新芽を食べる	大川征治	拝島7A
マヒワ	2003/3/28	15羽+	小宮公園林内を移動	定期CT (大川征治他)	拝島7A
マヒワ	2003/4/4	200羽	高尾山・6号路琵琶滝手前で200羽のマヒワの群が、杉の実を食べてい	若狭誠他	八王子0F
マヒワ	2003/4/4	200羽	高尾山6号路琵琶滝手前300mで杉の実を食べ木から木へと移り一斉に舞上り上空を飛ぶ。	定期CT (千葉禎子他)	八王子1F
マヒワ	2003/4/4	10羽	高尾山山頂で上空を通過	定期CT (千葉禎子他)	与瀬9E
マヒワ	2003/4/4	6羽	高尾山3号路で木から木に移動	定期CT (千葉禎子他)	八王子0E
マヒワ	2003/4/28	100羽+	小宮公園中央部 ざわざわと鳴きながらこならの芽を食す	大川征治	拝島7A
オオジュリン	2003/3/26	1羽	谷地川下流右岸柳の芽を採食していた。	大川征治	立川0C





ベニマシコ	2003/1/19	7	多摩川谷地川合流部、9:10、右岸の排水路脇で集団で、セイタカアワダチソウを啄む。7羽もまとまっているのは珍しく、最初はスズメかと思っ	神谷古牧	立川1B
ベニマシコ	2003/1/23	2	東光寺グラウンド、7:45、グラウンド下流端付近の河川敷内。	神谷古牧	立川1B
ベニマシコ	2003/1/25	3羽	浅川・一番橋下流約200m右岸ワンド、岸辺のヨモギの実を食べていた。3羽とも♀型。一緒にジョウビタキが1羽、アオジ1羽。同ワンドにはカワセミ1羽、ダイビングして魚をとっていた。	粕谷和夫	武蔵府中1J
ベニマシコ	2003/2/8	3	谷地川浄化施設、9:40、右岸のフェンス付近等	神谷古牧	立川10C
ベニマシコ	2003/2/17	4羽	AM7時30分、元八王子中学北門前の枯草に。♂1羽♀3羽が草の実を食べていました。	関根伸一	八王子2K
ベニマシコ	2003/2/26	2羽	谷地川・新旭橋下流。番と思われる2羽が柳の新芽をついばみながら時々地鳴きのフイフイでなく、チュルチュルチチと囀っていた。北へ帰る準備でしょうか。♂は赤みの濃い個体	大川征治	立川10C
ベニマシコ	2003/2/26	2羽	谷地川が始めて多摩川に合流する付記の柳の新芽を♂♀で食べながら時々囀っていた。	大川征治、香	立川10C
ベニマシコ	2003/3/1	1羽	谷地川河口付近、堤防下のよもぎの実を食べてはフイフイと鳴いていた。♀	大川征治	立川10C
ベニマシコ	2003/3/1	1羽	谷地川が始めて多摩川に合流する付記の柳の新芽を4羽で食す。若鳥と思われる	大川征治	立川10C
ベニマシコ	2003/3/2	2羽	北浅川・陵北大橋下で草の実をついばむ ♀♀	定期CT	拝島1B
ベニマシコ	2003/3/14	4羽	多摩川・拝島橋下流約700m右岸河川敷♂3、♀1ヤナギの新芽を食べていた	(丸山二三夫 粕谷和夫)	拝島8C
ベニマシコ	2003/3/14	1羽	多摩川・日野クリーンセンター前の河川敷♂1羽	阿江範彦	武蔵府中4K
ベニマシコ	2003/3/14	1	谷地川浄化施設、8:08、右岸フェンス付近で、セイタカアワダチソウの穂を啄みながら、良く鳴く。	神谷古牧	立川10C
ベニマシコ	2003/3/15	2	谷地川浄化施設、8:00、良く鳴いている。ひょうたん池でももう一羽。	神谷古牧	立川10C
ベニマシコ	2003/3/16	1羽	♀タイプ、谷地川・新旭橋近くのダム下流500Mの右岸 ヨモギの実を食べていた。	大川征治	立川10C
ベニマシコ	2003/3/23	1	谷地川浄化施設、16:21、左岸のフェンスで囲われた中に、♂が草の実を捕食。良く鳴く。	神谷古牧	立川10C
ベニマシコ	2003/4/1	1	多摩川桜並木、7:50、河原の枯れススキの根方で、捕食。♂	神谷古牧	立川1B
ウソ	2003/2/5	2羽	高尾山・蛇滝林道入り口から約400m地点で声	粕谷和夫	八王子0F
ウソ	2003/2/15	1羽	高尾山・小仏城山、一丁平から200m下った左側杉木立の奥から鳴き声で確認した。	白川司・史子	与瀬8E
ウソ	2003/2/23	4羽	甘里町、多摩森林科学園の桜の木に4羽、前日は2羽	支援探鳥会 (大川征治他)	八王子2H
ウソ	2003/3/9	3羽	11:50、♂2羽 ♀1羽、長沼公園・頂上園地、状況：盛んに木の芽を啄んでいた。	佐藤哲郎	八王子9G
ウソ	2003/3/12	6羽	ケーブル高尾山上駅付近のソメイヨシノの下(登山階段)に多数の食い干切られた桜の蕾が散乱していたので、上を見たらウソが6羽(♂3メス3)いた。	粕谷和夫	八王子0F
ウソ	2003/3/14	1羽	高尾山6号路琵琶滝付近で♀1羽が地面で採餌	定期CT	八王子0F
ウソ	2003/3/14	1羽	高尾山3号路上部から400mで樹上を移動	定期CT (倉本修他)	八王子0E
ウソ	2003/3/15	声	天合峰・松木入り東側の尾根で声	粕谷和夫他	拝島0C
ウソ	2003/2/22	2羽	高尾・多摩森林科学園、♂1、♀1、二日とも炭焼き小屋付近の同じ場所で桜の蕾を啄んでいた。	支援探鳥会 (粕谷和夫他)	八王子2H
イカル	2003/3/2	30羽	川口川・佐貫橋右岸のグラウンドのケヤキの大木に大群	鈴木章七他	拝島4C
スズメ	2003/2/15	1羽	城山湖・部分アルビノと思われるスズメ1羽、頭の頂上部が白く見えます。場所はダム堤をくだったバス停や奥。周りの正常のスズメと違いが明らか。デジカメで撮影。	大川征治他	八王子2C

## 2. 猛禽

トビ	2003/3/15	2	谷地川浄化施設、9:40、下流側の木に一羽が止まり、上空を半焼するもう一羽を見ながら、ピーピー鳴く。	神谷古牧	立川10C
トビ	2003/3/24	1番	滝山城跡下、モミ、営巣・抱卵中	佐伯直寛	拝島6E
ワシタカの巢	2003/4/4	2個	高尾山モミの木の上にワシタカらしい巣があった。(3号路に2箇所)、かしき台園地3号路から山側2本目のモミの木の上部と2号路と琵琶滝下り口分岐点山側のモミの木上部	定期CT (千葉種子他)	与瀬9E 八王子0F
オオタカ	2003/1/4	1	多摩川谷地川合流部、16:18、中州の木に強い風をこらえながら、木に止まっていた。	神谷古牧	立川1B
オオタカ	2003/1/9	1羽	日野市七生公園の鉄塔	青木繁昌	武蔵府中
オオタカ	2003/1/11	1羽	浅川・一番橋下流300m中州で食事(カモ?)	門口一雄他	武蔵府中1K
オオタカ	2003/1/12	1羽	北浅川 天使病院対岸の木に止まっていた	河村洋子他3	拝島2B
オオタカ	2003/1/22	1	多摩川桜並木前、7:53、中州の見張り木に止まる。細かい枝陰に隠れていて、個体識別は出来ない。やがて飛び立ち、日野市新町の住宅地方向へ消える。	神谷古牧	立川1C
オオタカ	2003/1/25	1羽	兵衛川・下谷戸方向上空旋回	粕谷和夫他	八王子7E
オオタカ	2003/1/26	1羽	小宮公園ひよどり山上空旋回	粕谷和夫他	拝島7A
オオタカ	2003/2/1	2羽	川口川・釜の沢橋付近上空旋回	探鳥会	拝島1D
オオタカ	2003/2/1	1羽	北浅川・圏央道西南100m付近を東方向に滑空	定期CT (丸山二三夫 粕谷和夫他)	八王子0K 拝島1D
オオタカ	2003/2/1	1羽	上川口町、川口川釜の沢橋付近、上空旋回	粕谷和夫他	拝島1D
オオタカ	2003/2/5	1羽	小仏川・駒木野公園付近を低く飛翔	粕谷和夫	八王子1G



オオタカ	2003/2/8	2	多摩川谷地川合流部、8:15、中州先端にある以前から有るカラスと思われる巣の中にオオタカの♀がうずくまる。近くの木には雄が止まる。いつの間にかは飛び立ち、対岸で獲物を捕らえ木の低い枝の止まる。雌も同じ木のやや高いところに飛んでいく。♂は獲物をつかんだままビービー鳴く。やがて雌が下流に飛び去ると、雄は獲物をつかんだまま茂みに舞い降りる。	神谷古牧	立川1B
オオタカ	2003/2/12	1	石川町自宅、7:00、上空を4羽のハシトガラスに追われたオオタカが西へ通過。カラスより〜2回り小さいので、雄の個体か。	神谷古牧	立川0B
オオタカ	2003/2/13	1羽	日野市七生公園の鉄塔	青木繁昌	武蔵府中
オオタカ	2003/2/25	1羽	多摩川・滝山城跡方向より飛来し、多摩川下流方向に飛び去る	佐伯直寛	拝島6E
オオタカ	2003/3/2	2羽	北浅川・中小田野公園西500m付近を1羽がもう1羽を追いかけるように飛ぶ。縄張り争いか	定期CT	拝島0A
オオタカ	2003/3/2	1羽	北浅川・松竹公園上空を飛翔	定期CT (丸山二三夫)	八王子0K
オオタカ	2003/3/10	1羽	3/10 1羽9時20分中野山王喜福寺上空旋回北飛3/16 1羽11時から30分間に2回中野山王喜福寺上空旋回北東へ	井上典子	拝島6A
オオタカ	2003/3/17	1	多摩川桜並木、8:07、中州の木に止まる。いつも見る特徴から♀の個体ようだ。	神谷古牧	立川1C
オオタカ	2003/3/28	1羽	F1、長沼公園橋本尾根でハシトガラスにモビングされ、農工大上空へ。	馬場百合亜	武蔵府中0F
オオタカ	2003/3/30	1羽	散田町・真覚寺上空を旋回	粕谷和夫	八王子4H
オオタカ	2003/4/1	1	谷地川多摩川合流部、5:58、中州の木に止まっていた。胸は全体に白いが、ハッキリとした縦斑があり、明らかに若い個体。肩斑も細く、不明瞭。白地の尾羽の下面には「逆ハの字」の模様が二つあり、このまま成長すれば、個体識別が出来そう。しばらくして飛び立ち、帆翔して高度を上げてから、上流へ向かう。比較的小型で、♂と思われる。	神谷古牧	立川1B
オオタカ	2003/4/6	1羽	浅川・市民プール前	門口一雄他	武蔵府中2K
オオタカ	2003/4/7	1羽	大谷町、16号バイパス横のヒヨドリ山 旋回中のオオタカとモビング	大川征治、香	拝島8A
オオタカ	2003/4/12	1羽	北浅川・恩方第一小学校裏上空を旋回飛翔	定期CT (丸山二三夫)	拝島0A
オオタカ	2003/4/13	1	滝山、13:45、高月水田の十字路にいと、滝山城址方向から鳴き声が二回聞こえる。	神谷古牧	拝島6E
オオタカ	2003/4/27	1羽	多摩川・滝山城跡下、水管橋近くから多摩川上流に向かって飛ぶ	佐伯直寛	拝島6D
オオタカ	2003/5/7	1羽	北浅川・陵北大橋上空を飛翔	定期CT (丸山二三夫)	拝島1B
オオタカ	2003/5/7	1羽	北浅川・松竹公園北500m上空を飛翔	定期CT (丸山二三夫)	拝島0A
オオタカ	2003/6/8	1羽	北浅川・元木橋上流100m付近。南→北へ羽ばたき飛翔	定期CT (丸山二三夫)	拝島1A
オオタカ	2003/6/10	1	日野市東光寺グランド、16:30、上空を旋回。胸には細い横斑。両足で比較的小型の鳥をつかんでいる。狩りの成功を喜ぶ様にしばらく旋回した後、SRL上空を通過し、トヨタの森方向へ向かう	神谷古牧	立川0C
ツミ	2003/4/7	1羽	大谷町、16号バイパス横のヒヨドリ山 旋回中のオオタカとモビング	大川征治・香	拝島8A
ノスリ	2003/1/4	1	多摩川桜並木、16:15、中州の柳の木に止まっていた。	神谷古牧	立川1C
ノスリ	2003/1/12	1羽	北浅川 陵北大橋北東の山の稜線を飛翔	河村洋子他3	拝島2C
ノスリ	2003/1/12	2	多摩川桜並木、9:24、中州の林の中を二羽が追い合って飛ぶ。やがて一羽は枝にとまり、もう一羽は下流へ飛び去る。	神谷古牧	立川1C
ノスリ	2003/1/13	1羽	高尾山日影、1羽が上空を旋回しながら上昇中を視認した。主翼下面の紋様と尾翼の形状で判断した。	白川司・史子	与瀬9F
ノスリ	2003/1/19	1	多摩川谷地川合流部、9:20、中州の木に、ハシトガラスに追われてやってきた。木に止まると、カラスはどこかへ行く。写真に撮影出来た。	神谷古牧	立川1B
ノスリ	2003/1/22	1	多摩川谷地川合流部、8:01、中州先端の木に止まっていた。	神谷古牧	立川1B
ノスリ	2003/2/1	2羽	川口川・釜の沢橋付近上空旋回	探鳥会	拝島1D
ノスリ	2003/2/1	2羽	北浅川・松竹公園上空を飛翔	定期CT (丸山二三夫)	八王子0K
ノスリ	2003/2/1	2羽	上川口町、川口川釜の沢橋付近、上空旋回	粕谷和夫他	拝島1D
ノスリ	2003/2/2	1羽	北浅川・東京天使病院付近、左岸の木の上	探鳥会	拝島2B
ノスリ	2003/2/5	1羽	谷地川下流左岸、急に降りし低い位置でホバリング、狩は失敗	大川征治	立川0C
ノスリ	2003/2/22	1	多摩川桜並木、8:45、中州の木に止まる。こちらを向いている腹側はかなり白っぽい。	神谷古牧	立川1B
ノスリ	2003/2/26	1羽	谷地川・新旭橋下流、カラスがモビング	大川征治	立川0C
ノスリ	2003/2/26	1羽	谷地川多摩川合流部 カラスとモビングしていた。	大川征治、香	立川0C
ノスリ	2003/2/28	1羽	9:45、F1、長沼公園南〜下柚木の上空。	馬場百合亜	八王子9G~ 武蔵府中0G
ノスリ	2003/3/2	1羽	北浅川・松竹公園南500付近を旋回飛翔	定期CT (丸山二三夫)	八王子0J
ノスリ	2003/3/6	1羽	上恩方町・北浅川左岸黒沼橋水田奥の丘陵地の枯れ木に止まる	粕谷和夫	五日市8A
ノスリ	2003/3/14	1羽	多摩川・拝島橋下流約700m右岸河川敷上空旋回	粕谷和夫	拝島8C
ノスリ	2003/3/14	1羽	高尾山6号路500m付近上空を飛翔	定期CT (倉本修他)	八王子1F
ノスリ	2003/3/14	1羽	高尾山6号路大山橋100m下で、上空を飛翔	定期CT (倉本修他)	八王子0E
ノスリ	2003/3/20	1羽	戸吹町・八王子戸吹ゴミ最終処分場上空旋回	粕谷和夫	拝島3E
ノスリ	2003/4/28	1羽	高尾山日影・木立の間から右旋回しながら上昇しているのを視認した。	白川司・史子	与瀬9F
ノスリ	2003/5/14	1羽	高尾町・高尾山・6号路琵琶滝付近の木のテッペンに止まり鳴声	粕谷和夫	八王子0F
ノスリ	2003/6/6	1羽	高尾山3号路薬王院付近の上空を旋回	定期CT (木村晴美他)	八王子0E
ノスリ	2003/6/8	1羽	北浅川・川原宿橋北1km付近を飛翔	定期CT (丸山二三夫)	拝島0A

サシバ	2003/4/10	1羽	高月町秋川に面した田んぼ(ホテル高月城の西側)の杉の中段に、サシバが1羽留っていました。下の田んぼをみて餌をさがしている様子。	関根伸一	拝島5F
サシバ	2003/4/16	3羽	小宮公園・9時過ぎ、100m上空にサシバ3羽が円を描きながら上昇していました。肉眼でも十分観察できる近さでした。	若狭誠	拝島7A
サシバ	2003/5/7	1羽	川口町・長福寺奥の谷戸から飛び立つ	粕谷和夫	拝島2D
ハヤブサ	2003/2/18	1羽	浅川・萩原橋下	福島弥四郎	八王子6K
ハヤブサ	2003/2/26	1羽	JR八王子駅北口東急スクエアビル西側非常階段の防護柵、最上階から2つ下の欄に17時30分から5分間止まる。飛び出した時に付近に来ていたねぐら入り前のハクセキレイが一斉に飛び立った。ハヤブサが集団ねぐらに集まるハクセキレイをねらったかどうかの因果関係は不明。	粕谷和夫	八王子7J
ハヤブサ	2003/3/4	1羽	京王線高畑不動駅上空	粕谷和夫	武蔵府中3J
ハヤブサ	2003/6/2	1羽	浅川・日野クリーンセンター前	青木繁昌	武蔵府中4K
チョウゲンボウ	2003/1/15	1羽	横山町・以前からチョウゲンボウが営巣している甲州街道沿いのビルの通気孔を観察していたら、1羽が屋上の方からすーと現れて、上空を一周して行った。この時期、既に巣穴を監視しているのだろうか。	粕谷和夫	八王子7J
チョウゲンボウ	2003/1/19	1	多摩川ひょうたん池、11:00、上空を着たに向かって羽ばたいて飛	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2003/1/19	1	多摩川ひょうたん池、11:00、上空を上流に向かって飛ぶ。	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2003/2/1	1羽	高月水田上空旋回	粕谷和夫	拝島6F
チョウゲンボウ	2003/2/5	2羽	横山町 日動火災ビルの看板に止まり、2羽で鳴き交わす	古山 隆	八王子7J
チョウゲンボウ	2003/2/8	1羽	北浅川 上巻分方小学校対岸、ドバトを追っていた	河村道寛	拝島2B
チョウゲンボウ	2003/2/8	1	谷地川浄化施設、9:40、上空を通過	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2003/2/20	1羽	高月北水田・上空旋回	粕谷和夫	拝島6F
チョウゲンボウ	2003/2/20	2羽	12時55分、大横町上空を2羽が求愛ディスプレイ飛翔	粕谷和夫	八王子6K
チョウゲンボウ	2003/2/21	1羽	浅川・萩原橋上流50m位の所に現れ、急降下してドバトを追ったが失敗、同橋下流150m位の上空で旋回数10回後、下流へ飛び去った	倉本修	八王子6K
チョウゲンボウ	2003/2/27	1羽	浅川・日野クリーンセンター前	青木繁昌	武蔵府中4K
チョウゲンボウ	2003/2/28	1羽	9:35、F1、長沼公園東端上空、ハシトガラス2羽にモビングされる。	馬場百合垂	八王子9F
チョウゲンボウ	2003/3/4	1羽	浅川大橋下流水管橋下の中洲に、チョウゲンボウの1羽もいました。	若狭誠	八王子7K
チョウゲンボウ	2003/3/9	1	谷地川浄化施設、14:04、強風に逆らって、多摩川上流方向にヒラヒラ飛んでいく。	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2003/3/18	1	谷地川浄化施設、7:45、谷地川の川面に沿って下流から低く飛んでくる。多摩川の土手が立ち上がるところで、小鳥を襲うが失敗し、そのまま多摩川上流方面に向かう。	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2003/3/20	1羽	上戸吹・住吉神社の奥	粕谷和夫	拝島2F
チョウゲンボウ	2003/3/21	1羽	浅川・北野町、西東京生コンの塔上のアンテナにとまる	佐藤哲郎	八王子8H
チョウゲンボウ	2003/3/23	1羽	浅川・高幡橋付近上空に現れ多摩丘陵方面へ	粕谷和夫	武蔵府中2K
チョウゲンボウ	2003/3/29	1羽	浅川・鶴巻橋、八王子市役所上空を飛翔	粕谷和夫	八王子5K
チョウゲンボウ	2003/4/9	1羽	六本杉公園(八王子市子安町2丁目)上空、ホバーリング後東方へ	粕谷和夫	八王子7H
チョウゲンボウ	2003/4/9	1羽	浅川・市民プール前	青木繁昌	武蔵府中2K
チョウゲンボウ	2003/4/22	1羽	八王子市高月町、高月水田北側	粕谷和夫	拝島6F
チョウゲンボウ	2003/5/10	1羽	0:20、南浅川廿里橋付近でチョウゲンボウ1羽がイワツバメの群れに追われて多摩森林科学園方向へ飛び去った。チョウゲンボウは赤茶色の背と尾の先の黒い帯が肉眼ではっきり見える高さを選びました。	横山由美子	八王子2G
チョウゲンボウ	2003/5/17	1羽	15時40分、中野山王喜福寺上空、2度ホバーリング、5分後南飛	井上典子	拝島6A
チョウゲンボウ	2003/5/29	1羽	浅川・萩原橋下流の上空を3分位旋回した後上流の右岸市街地へ去った	倉本修	八王子6K
チョウゲンボウ	2003/6/1	1羽	浅川・鶴巻橋上空旋回、八王子市役所から南へ消える	粕谷和夫	八王子5K
チョウゲンボウ	2003/6/2	1羽	浅川・石明神社前	青木繁昌	武蔵府中4K

チョウゲンボウ	2003/6/8	1羽	川口川・唐犬橋、ツバメの雛らしきものを驚つかみして親ツバメ数十羽に追いかけていた	杉森ユリ他	拝島3C
チョウゲンボウ	2003/6/8	1羽	川口川・宮田橋、カラスに追いかけていた	杉森ユリ他	拝島2C
チョウゲンボウ	2003/6/10	1	日野市東光寺グラウンド、16:35、グラウンド下流端で、帆船とホバリングを繰り返している。やがてそのまま少しずつ南へ移動していく。	神谷古牧	立川0c
チョウゲンボウ	2003/6/14	3羽	PM2頃、観察場所:JR八王子駅北口前、状況:JR八王子駅北口前の上空を、3羽のチョウゲンボウが時折鳴きながら旋回。やがて1羽が東急スクエアビル屋上の陰に入った。(他2羽の飛び去った方向は不明)	佐藤哲郎	八王子9K
チョウゲンボウ	2003/6/16	2羽	JR八王子駅前 東急スクエアビル 上空 1羽が盛んに鳴く	古山 隆	八王子7J
チョウゲンボウ	2003/6/23	1羽	浅川・鶴巻橋下流側左岸上空で発見、萩原橋下流へ飛び去った	倉本修	八王子6K
チョウゲンボウ	2003/6/29	2羽	北野町 ルームズ大正堂 建物上空 ゆっくりと帆船	古山 隆	八王子8J
アオバズク	2003/5/9	1羽	中野上町1丁目付近 夜11:00頃 鳴き声聞こえる	古山 隆	八王子6K
アオバズク	2003/5/10	声	22:00 下恩方町川原宿、バス停川原宿大橋とグリーンタウン北小田野トンネルとの間で鳴き声	清水盛通	八王子1Kもしくは拝島
アオバズク	2003/5/11	声	19:00 御陵入り口付近、御陵の交番の前で鳴き声を聞きました。	千葉慎子	八王子3Hもしくは八王
アオバズク	2003/5/13	声	相即寺(泉町1132)の奥様におたずねしましたところ昨日(13日)境内で今年初めてアオバズクの声が聴かれたそうです。	河村洋子	拝島4A
フクロウ	2003/6/6	1家	日野市百草八幡宮	青木繁昌	武蔵府中4J

### 3. シギ・チドリ類

イカルチドリ	2003/3/31	1	多摩川中央線鉄橋、8:15、上流側で、鳴きながらディスプレイフライ	神谷古牧	立川1B
イカルチドリ	2003/6/14	2	多摩川谷地川合流部、8:40、中州の端で、二羽が巣穴を掘ったり、尾羽を広げて、求愛行動。写真撮影をすることができた。	神谷古牧	立川1B
イカルチドリ	2003/6/16	2	谷地川浄化施設、7:35、右岸の土盛の上から飛び立つ。営業の可能性あり。	神谷古牧	立川0C
ムナグロ	2003/5/10	3羽	浅川・市民プール前	門口一雄他	武蔵府中2K
タゲリ	2003/3/24	1羽	16:00過ぎ所用の掃りに、ついでにトモエガモを確認しようと高月浄水場の池に立ち寄りました。掃りに浄水場の中の道を池を右に見ながら水田にでたところ、車から10mほどのあぜ道にタゲリが1羽歩いていました。よく見ればまだタゲリがいたかもしれませんが、事情があり確認できませんでした。尚、トモエガモは見当たりませんでした。高月浄水所池の北西30mの水田の畦道を1羽で歩いていました。	若狭誠	拝島6F
ハマシギ	2003/4/6	45羽	浅川・市民プール前	門口一雄他	武蔵府中2K
ハマシギ	2003/5/3	43羽	10:00 浅川、一番橋上流側100mに夏羽で43羽	山崎悠一・久美	府中1J
ハマシギ	2003/5/10	7羽	浅川・市民プール前	門口一雄他	武蔵府中2K
ハマシギ	2003/5/21	15羽	浅川・一番橋、何かたくさんの小鳥がやってきたので双眼鏡を覗くと夏羽のハマシギが15羽いて水の中を歩いて餌を探していました。	佐藤サヨ子	武蔵府中1J
クサシギ	2003/1/11	1羽	浅川・日野市民プール下流200m左岸	門口一雄他	武蔵府中2K
クサシギ	2003/1/12	1羽	北浅川 松枝住宅下グラウンド横、川べりを歩く	河村洋子他3	拝島3B
クサシギ	2003/1/12	1羽	北浅川 陵北大橋下の木の橋付近を歩いていた	河村洋子他3	拝島2B
クサシギ	2003/2/2	2羽	北浅川・松枝住宅付近の川の中に2羽	探鳥会	拝島3B
クサシギ	2003/2/8	2羽	北浅川 松枝住宅のグラウンド下付近 2羽で歩いていた	河村道寛	拝島3B
クサシギ	2003/2/27	1羽	浅川・日野高校前	青木繁昌	武蔵府中4K
キアシシギ	2003/5/3	7羽	10:00、浅川・一番橋上流側100m	山崎悠一・久美	府中1J
キアシシギ	2003/5/7	3羽	浅川・長沼橋下流500mの川原で3羽が採餌	若狭誠	八王子9G
キアシシギ	2003/5/7	1羽	浅川・一番橋から高幡橋に向かって歩いていると、キアシシギが1羽飛んでいて私が後をおいかけても追いつかない速さでした。	佐藤サヨ子	武蔵府中2K
イソシギ	2003/2/8	2	多摩川谷地川合流部、8:20、追い合うように鳴きながら飛ぶ。	神谷古牧	立川1B
ヤマシギ	2002/12/31	1羽	大谷町、16号バイパスのウカイリソウト北側の斜面下の小道の横の地面で採餌していたがしばらくして消えた	大川香	拝島8A
ヤマシギ	2003/3/30	1羽	V1、小宮公園ひよどり谷戸の奥斜面でしきりに採餌。	馬場百合垂・裕	拝島7A



#### 4. 託卵鳥

カッコウ	2003/5/18	1羽	a m 6時30北八王子駅に向かう途中のオリンパス工場横でカッコウの声を聞くこんな住宅地では珍しい	大川征治	八王子9A
ツツドリ	2003/5/17	声	AM6.00. 武分方町 高陵校東側の林の中より。ポポ ポポ となく声に聞きほれていました。	関根伸一	拝島2A
ツツドリ	2003/5/18	1羽	高尾山日影・与瀬8F1羽 8E1羽 それぞれ鳴き声で判定した。	白川司・史子	与瀬8E8F
ツツドリ	2003/5/25	1羽	高尾山・大平林道上の作業員小屋で南西方向から声を確認	川上憲他	与瀬9E
ツツドリ	2003/6/9	3羽	高尾山日影・与瀬9F1羽 8F1羽 8E1羽 それぞれ鳴き声で判定した。	白川司・史子	与瀬8E8F9F
ツツドリ	2003/6/21	1羽	高尾山・大平林一丁平付近で声、林内からポポ、ポポと4~5回聞こえた	川上憲他	与瀬8E
ホトトギス	2003/5/4	声	曇、18:30. 多摩川・平の堰、囀りを確認。今春当地初認、個人的にはかなり早い記録だと思います。	渡辺仁	拝島8C
ホトトギス	2003/5/17	声	昨晚から自宅周辺でさかんにホトトギスが鳴きだしました。今日は屋間にも鳴き声が聞こえています。	清水盛通	拝島0A
ホトトギス	2003/5/25	2羽	高尾山・大平林道森林ふれあい館周辺で鳴きながら飛んでいた	川上憲他	与瀬9E
ホトトギス	2003/6/2	声	日野市程久保650. 高幡橋台団地裏山で今朝初めてホトトギスの声を聞きました。皆さんの所から約一月遅れですが、楽しみにしていたのでとても嬉しく思っています。	佐藤サヨ子	武蔵府中3J
ホトトギス	2003/6/4	声	滝山1丁目、滝山丘陵	粕谷和夫	拝島7C
ホトトギス	2003/6/6	2羽	高尾山頂上付近と、高尾山3号路薬院付近で囀り	定期CT (木村晴美他)	与瀬9E 八王子0E
ホトトギス	2003/6/6	1羽	日野市百草八幡宮	青木繁昌	武蔵府中4J
ホトトギス	2003/6/8	声	JR横浜線八王子みなみ野駅付近	粕谷和夫	八王子6F
ホトトギス	2003/6/9	3羽	高尾山日影・与瀬9F1羽 8F1羽 8E1羽 それぞれ鳴き声で判定した。	白川司・史子	与瀬8E8F9F
ホトトギス	2003/6/10	声	北浅川 松枝住宅対岸より声	河村洋子	拝島3B
ホトトギス	2003/6/10	声	北浅川 天徳病院~陵北大橋の間の対岸で声	河村洋子	拝島2B3B
ホトトギス	2003/6/21	2羽	高尾山・大平林道森林ふれあい館南側~一丁平付近で何回も声を聞く	川上憲他	与瀬8E9E
ホトトギス	2003/6/29	声	日野市南平2丁目、日本野鳥の会WINGで声を聞く	粕谷和夫	武蔵府中2J
ホトトギス	2003/6/	声	自宅近くで6月10日からホトトギスが鳴いています。最後に声を聞いたのは7月14日でした。	阿江範彦	武蔵府中4J
ホトトギス	2003/6/1~30	1羽	日野市高幡台団地自宅より連日鳴き声を聞く	青木繁昌	武蔵府中3H

#### 5. 野鳥の繁殖

アオサギ	2003/4/4	35巢	日野市、多摩動物公園、飼育下でない野生のアオサギのコロニー(トンボ橋上からニホンサルヤマの西側に続く雑木林のコンラ、サクラに集団営巣、約70巢あり、そのうち約半数の35巢で産卵中のものや巣中にあるものあり)繁殖4③	粕谷和夫	武蔵府中2H
キジ	2003/3/15	1	多摩川桜並木、9:25、中州で鳴く。繁殖4⑥	神谷古牧	立川1C
キジバト	2003/6/6	1番	今度はキジバトが巣作りを始めました。窓から1m半くらいのシデコブシの木の中央に作っています。外からは全く見えませんが家の中からはどうにか見ることが出来ます。雌雄の別はわかりませんが巣を作る役と巣材を運ぶ役に別れているようです。作り始めて4日目まだまだ完成は先の感じがします。しばらく窓の開閉が出来なくなってしまいました。繁殖4③	笹川佳子	拝島0B
コゲラ	2003/3/28	1番	西浅川町99、私の勤務先の窓前の民家のすももの木で今年もコゲラが営巣を始めました。通行人が真下で立ち止まって見つめるような巣ですが、今年で3年目です。平成13年は木の上部北向き、14年はその下西向き、今年は14年の穴をそのまま利用しています。繁殖5② 3/24 コゲラ1羽14年の巣穴を少し突ついている。 3/26 コゲラ2羽巣穴をチェック、1羽が少し突つく。 3/27 コゲラ巣穴から頭を出している。胎卵開始か。 3/28 コゲラ巣穴から頭を出している。 古巣利用はととても省エネです。	横山由美子	八王子2G
コゲラ	2003/5/14	1羽	高尾町、高尾山4号路、つり橋手前の登山道上のアカシデの枯れ枝で巣穴掘中。繁殖4③	粕谷和夫	八王子0F
コゲラ	2003/6/30	2羽	CV2、長沼公園ひよどり沢で幼鳥2羽。繁殖4②	馬場百合亜	八王子9F
ヒバリ	2003/6/1	2羽	浅川 鶴巻橋下流側 左岸 地上で2羽で組み合う(なわばり争い?)繁殖4⑤	古山 隆	八王子5K
ツバメ	2003/4/18	1	谷地川浄化施設、7:35、右岸の土木工事現場の水たまりから、土を銜えて、左岸の監視塔の軒先に入る。繁殖4③	神谷古牧	立川0c
ツバメ	2003/6/6	1家	6月6日の夕(18時25分)、八王子市北野町へハクセキレイの購入調査に行く途中のこと、山田川石田橋の上流側岸辺に約50m細長く群生しているヨシ原(ツルヨシ)の中のヨシから突き出した枯れ草(ヨモギ?)の枝に巣立ち直後のツバメ6羽が止まり、親2羽が盛んに餌を運び給餌していた。ハクセキレイの購入調査が終了した19時30分(辺りは暗くなっていた)、再びその場所に行ってみたら、同じ枯れ草の枝に巣立ち雛が3羽づつ2グループに分かれ体を寄せ合っていた。親は1羽が単独で直ぐ近くの枝に止まっていたが、もう1羽の親は見当たらなかった。繁殖4② 7羽のツバメはこのヨシ原の中の枯れ枝に購入したと判断した。なお、同じ場所の水面にはカルガモの可愛い子連れ(親1+子7)がいた。	粕谷和夫	八王子8J
イワツバメ	2003/5/5	8	多摩川八高線鉄橋、14:45、鉄橋上流側左岸から見る流れの右岸側で、7~8羽のイワツバメが集まって、流れのすぐ脇で、巣材にするのか、土取をしている。繁殖4③	神谷古牧	拝島9C

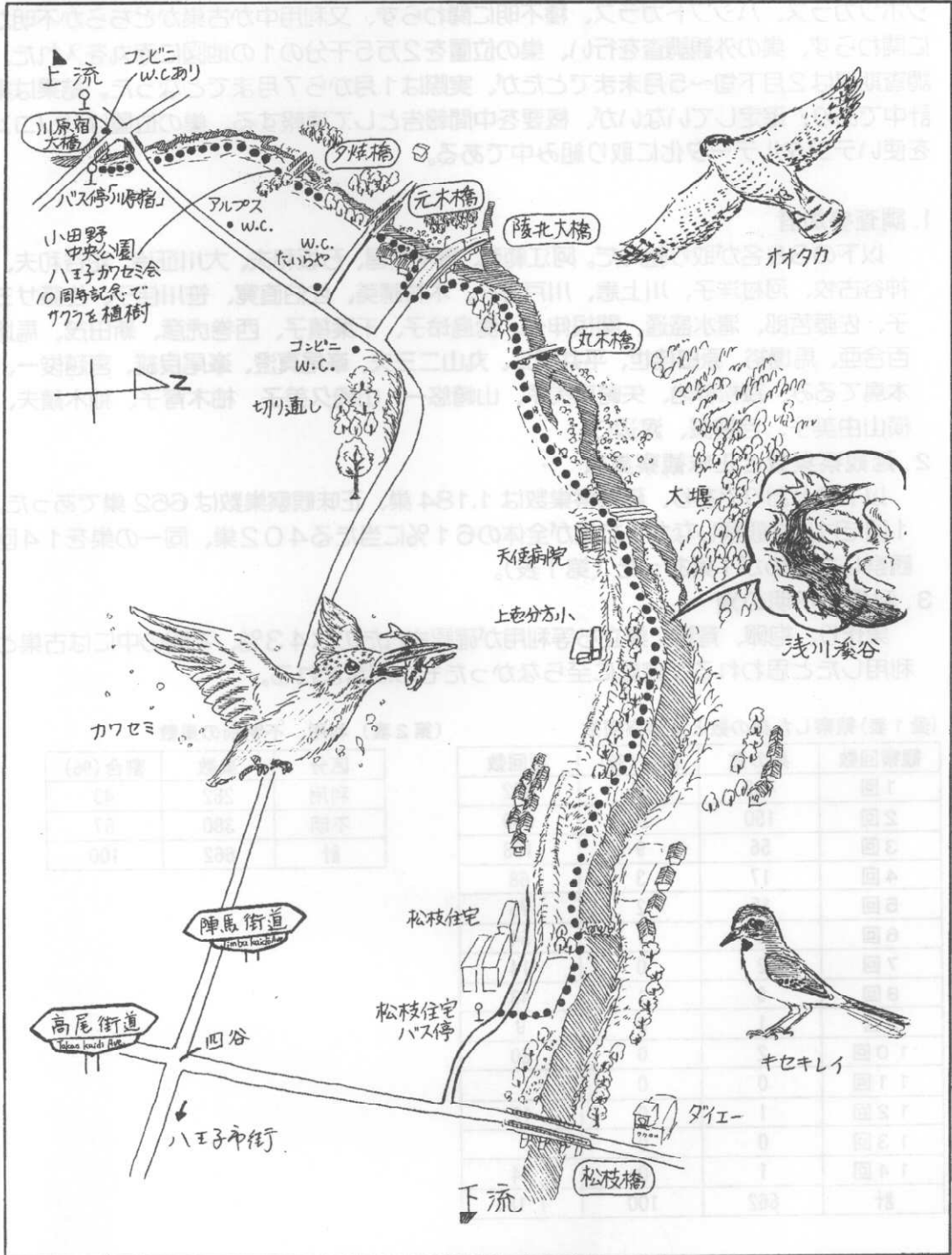
イワツバメ	2003/6/7	1巢	中野上町4丁目 第2中学校 昇降口 営巣 ヒナがいる模様 親鳥給	古山 隆	拝島5A
キセキレイ	2003/4/12	1羽	八王子市美山町御屋敷川・美山トンネル出口付近、巣があると思われる ところ(建物隙間)から出てきた。繁殖5③	粕谷和夫	拝島0B
キセキレイ	2003/5/14	1番	高尾町、高尾山・6号路琵琶滝下の病院の屋上で餌運び。繁殖4①	粕谷和夫	八王子1F
ハウセキレイ	2003/4/18	1	多摩川谷地川合流部、7:57、テラポットの上を苔のようなものを集 めながら歩いていく。繁殖4③	神谷古牧	立川1B
ハウセキレイ	2003/5/10	1	多摩川谷地川合流部、8:00、右岸の土手で、獣毛を見つけ銜えて飛ん でいく。繁殖4③	神谷古牧	立川1B
ハウセキレイ	2003/5/25	3	谷地川新橋見橋、17:20、二羽の若鳥に数十秒おきに給餌を続ける。 親が離れると飛んで追いつがる。繁殖4②	神谷古牧	立川0B
ハウセキレイ	2003/6/4	2家	高月水田、親子連れ(親1+子2、親1+子3)繁殖4②	粕谷和夫	拝島6F
セグロセキレイ	2003/3/28	1番	西浅川町128大島橋本舗事務所建物、平成13年、14年に営巣した屋根は14 年夏に葺き替えて素材が変わり、古巣も取り除かれています。また、3月7日 には去年の巣の下を玄関ガラスにセグロセキレイ1羽が激突死するという 事故があったため、今年は営巣しないかと思っておりましたが、去年の営巣 場所から2mほど横の窓の戸袋の上に営巣しました。繁殖4③ 2003/3/24 セグロセキレイ1羽、去年の営巣場所近くの屋根で囀 り。 3/26 1羽、巣材を銜えて戸袋上部に入る。 3/28 1羽、巣材を銜えて戸袋上部に入る。巢作り中。	横山由美子	八王子2G
セグロセキレイ	2003/4/18	1	日野市東光寺ランド、7:39、ランド脇の土手の上を獣毛を集めな がら歩いている。繁殖4③	神谷古牧	立川0C
カワガラス	2003/2/6	1羽	12:45頃、南浅川・八王子市役所浅川事務所裏で滝になっている所、苔集 め(滝壺付近の岩場で苔集めをし、口いっぱい銜えて滝の南端に入りま した)繁殖4③	横山由美子	八王子2G
カワガラス	2003/2/7	1番	南浅川・八王子市役所浅川事務所裏で滝になっている所、つがい巣材の コケをくちにくわえて運んでいました。繁殖4③	関根伸一	八王子2G
カワガラス	2003/3/16	1番	案内川と小仏川の合流点より下流800メートル浅川事務所北側陸橋下の 滝の裏でカワガラスが巣造りを開始した模様です。16日熟年男性が一眼 カメラに望遠レンズを付け待機して居りました。お話して滝壺に巣が 有る事を知りました。同一視野に3匹のカワガラスを確認、他に、単独で 1羽も。ケヤキの葉を喰わえて滝壺に飛び込むのを2度確認と、カワガラ スを何度も同川で確認している植物に詳しい熟年女性も電話で報告下さ いました。繁殖4③	川戸恵一	八王子2G
カワガラス	2003/3/17	1番	2002/11/14 12:50 カワガラス2羽、白山橋方向から現われ、大島橋工 場の50m程度下流部の川原に降り、すぐに白山橋方向に飛び去った。濁っ た短い鳴き声、水面すれすれに2羽が連れだって飛んだ。 2002/11/19 12:40~50 1羽、白山橋の約50m上流、高尾保育園裏で水 に潜ったり、羽づくろいをしている。 2002/11/21 12:45 2羽、白山橋の約50m下流部で餌取り。 2002/11/28 12:45~50 1羽、白山橋の約50m下流部で餌取り。 2002/12/5大島橋~高尾保育園の川岸の補修工事始まる。ブルドーザーが 入り、砂利を動かし、川の流れを大きく変えての工事で、水はかなり濁っ た。 2002/12/18 12:45 1羽、高尾保育園裏の黒い岩の上で囀り。工事は休 止中で水は再び澄んでいる。 2003/1/12 朝 1羽、白山橋の約50m下流部で餌取り。(冬鳥一斉調 査) 2003/2/3 12:50 1羽、白山橋の約50m下流部で餌取り。 2003/2/5 1羽、高尾保育園方向から両界橋方向へ鳴きながら飛ぶ。 2003/2/6 1羽または2羽、浅川事務所裏(白山橋200m下流)の滝壺付 近で苔集めして滝の中に入る。1羽は滝から飛び出し、白山橋下流50mの 餌場に飛び、さらに上流に飛び去る。同時に2羽の姿を見てはいないが、 鳴き声の方向と姿の場所とが違うように見えた。 2003/2/13 12:40 1羽、滝に入り、すぐ飛び出す。 2003/2/14 1羽、白山橋の約50m下流部で餌取り。 2月~3月 両界橋付近で工事中、泥水が流れることが多い。雨による増水 で浅川事務所裏の滝は激流になっている。 2003/3/17 12:45頃 1羽、両界橋方向から現れ、白山橋方向に飛び 去る。現れる前から鳴き声がしていたので、両界橋下流部50m位の所にい たのかもしれない。 以上、1月12日の冬鳥一斉調査時以外は全て勤務先の休み時間12時30分 から50分頃までの観察です。余程ひどい天候の日以外は短い時間帯ですがほ ぼ毎日、保育園裏、白山橋下流50mの餌場、浅川事務所裏の滝を見るよう にしています。繁殖4④ 平成15年3月22日記	横山由美子	八王子2G



カワガラス	2003/4/30	1番	南浅川、浅川事務所裏の滝で営業中のカワガラス少なくとも1羽が巣立ちしました。4月23日頃から親鳥が小魚を運ぶ姿を見ようになり、28日には頻りに小魚を運んでいましたが、4月30日12時40分頃、親鳥1羽と幼鳥1羽が滝下の岩にいるのを見る事が出来ました。小雨模様で薄暗いせいか、図鑑のような白点模様は、はっきりと見えなかったが、親鳥よりは幾分ぼやけた薄い色に見えた事、尻尾が親より短いこと、歩き方が危なっかしいこと、泳ぐが潜らないこと、私が近づくと立ち去るまでの間、親鳥がジュ、ジュ、ジュ、ジュ、と鳴き続けたこと、などから2羽のうち小さい方が巣立ちした幼鳥と判断しました。親鳥が鳴き続けているのは、まだ巣に残っている幼鳥の巣立ちを促しているようにも見えましたが、短い昼休み時間内の観察のため、幼鳥が他にもいるのかは判りませんでした。繁殖5①	横山由美子	八王子26
ヤブサメ	2003/6/9	10羽	高尾山日影・与瀬9F5羽 8E1羽 9E4羽 いろは坂中間からやや下方の休憩ベンチ付近で巣立ち雛4羽を含む5羽を視認した。他は、鳴き声で判定した。繁殖4②	白川司・史子	与瀬8E9E9F
コサメビタキ	2003/5/14	1羽	高尾山頂ビジターセンター西側下の林の中で餌を加えたコサメビタキと思われる個体を視認したが、一瞬であったので、参考記録とする。繁殖4④	粕谷和夫	与瀬9E
エナガ	2003/2/26	1羽	谷地川・新旭橋下流、羽毛を啜って笹藪に入る。繁殖4③	大川征治	立川0C 八王子9F~ 9G、武蔵府 中0F~0G
エナガ	2003/2/28	3羽	CV++、長沼公園全域、内、3羽がペアのよう。繁殖4⑤	馬場百合垂	八王子9F~ 9G、武蔵府 中0F~0G
エナガ	2003/3/28	2羽	SCV2、長沼公園。クヌギの幹に付いているコケを盛んに取る。繁殖4③	馬場百合垂	八王子9F~ 9G、武蔵府 中0F~0G
エナガ	2003/4/12	1羽	八王子市西寺方町、宝生寺団地西のテニスコート脇、巣材運び。繁殖4③	粕谷和夫	拝島1B
ヒガラ	2003/5/18	2羽	高尾山・小仏城山、一丁平で山桜の第穴に営業材を啜って出入するのを確認した。繁殖4③	白川司・史子	与瀬8E
シジュウカラ	2003/2/28	18~20羽	SCV++、長沼公園全域で囀り。繁殖4⑥	馬場百合垂	八王子9F~ 9G、武蔵府 中0F~0G
シジュウカラ	2003/5/14	1羽	南町、車ガレージ鉄アングルの隙間に営業、餌をくわえ巣穴に入る。繁殖	粕谷和夫	八王子6J
シジュウカラ	2003/5/26	6+	多摩川桜並木、7:45、巣立ち雛が5、6羽親鳥に餌をねだって鳴く。繁殖4②	神谷古牧	立川1B
ホオジロ	2003/6/10	4羽	北浅川 右岸陵北大橋下流の丸木橋近くの木の枝に親子連れ(2+2)繁殖4②	河村洋子	拝島2B
スズメ	2003/3/23	1番	北野町・北野天満宮境内のケヤキの樹洞に営業、2羽が盛んに巣材を運び込む(人工物以外への営業例)繁殖4③	粕谷和夫	八王子8H
スズメ	2003/4/4	1羽	(高尾山口駅)	定期CT (千葉禰子他)	八王子1F
スズメ	2003/5/11	1番	地上で嘴一杯に巣材を集め飛び去った。繁殖4③ 最近裏山に入るとスズメがいるんです。それは近くに民家があるので不思議でも何でもないので、そのスズメの交尾を見た時ちょっとビックリしました。私が見ているにもかかわらず、道の真中でメスがオスの首を噛んで催促するんですね。それも1度ならず2度ならず、5度も6度もです。オスの方は1度終わるともう気は別のほうに向いているらしく今にも飛立とうとしている時又メスに噛まれてお養理でお相手をしてあげているという感じでした。繁殖4⑤	佐藤サヨ子	武蔵府中3J
ムクドリ	2003/3/28	1番	西浅川町128大島橋本舗工場、少なくとも平成9年から毎年同じ場所で営業していたが、平成12年に1羽が換気扇に巻き込まれて事故死、12年と13年には営業なし。14年は営業という場所です。繁殖5② 2003/3/25 ムクドリ1羽2階屋根の隙間に入る。 3/28 ムクドリ1羽入る。巣作り中または胎卵中と思われる。	横山由美子	八王子26
ムクドリ	2003/5/23	1	多摩川谷地川合流部、7:37、土手の上で、体の半分ほどの獣毛の固まりを銜え飛び去っていく。繁殖4③	神谷古牧	立川1B
ハシブトガラス	2003/3/28	1羽	V1、長沼公園霧降の道、モミに造巣の最中。繁殖4③	馬場百合垂	武蔵府中0F
ハシブトガラス	2003/3/28	2羽	V2、長沼公園北側の田んぼそばのヤマザクラに、尾がはみ出して見える巣があり、下に見張りが一羽。繁殖5②	馬場百合垂	武蔵府中0F

# 浅川上流

浅川の上流部で、淵も瀬もあり雑木林が比較的多く、水辺の鳥だけでなく山野の鳥も見られる所です。浅川の中でもカワセミに出会えるチャンスが最も多い場所です。また、イカルの行動は気ままに、時には20羽程度の集団でやってきます。オオタカを見かけることもある自然豊かなコースです。



本マップは、1999年10月に発行した「浅川流域探鳥図」より抜粋したものです。

## 2003年カラス巢調査中間報告

取りまとめ：粕谷和夫

ツバメ巢の補足調査として、八王子市、日野市全域でカラスの巢の調査を行った。ハシボソガラス、ハシブトガラス、種不明に関わらず、又利用中か古巢かどちらか不明かに関わらず、巢の外観調査を行い、巢の位置を2万5千分の1の地図に赤丸を入れた。調査期間は2月下旬～5月末までとたが、実際は1月から7月までとなった。結果は集計中であり、確定していないが、概要を中間報告として速報する。巢の位置はパソコンを使いデジタルデータ化に取り組み中である。

### 1. 調査参加者

以下の38名が取り組んだ。阿江範彦、青木繁昌、石坂和夫、大川征治、粕谷和夫、神谷古牧、河村洋子、川上恵、川戸恵一、木村晴美、佐伯直寛、笹川佳子、佐藤サヨ子、佐藤哲郎、清水盛通、関根伸一、傍島玲子、千葉槇子、西巻虎彦、新田茂、馬場百合亜、馬場裕、原田佳世、平井国二、丸山二三夫、峯尾真澄、峯尾良雄、宮越俊一、本島てるみ、森松幹治、矢崎恵美子、山崎悠一、山崎久美子、柚木育子、柚木鎮夫、横山由美子、若狭誠、渡辺仁

### 2. 延観察巢数と正味観察巢数

以下のとおりであり、延観察巢数は1,184巢、正味観察巢数は662巢であった。1回だけしか観察しなかった巢が全体の61%に当たる402巢、同一の巢を14回観察したものが1巢あった(第1表)。

### 3. 利用、不明の別

巢作り、抱卵、育雛、巢立ち等利用が確認されたのは43%、不明の中には古巢と利用したと思われるが確認に至らなかったものが含まれる。

(愛1表) 観察した巢の数と延観察回数

観察回数	巢の数	割合(%)	延回数
1回	402	61	402
2回	150	23	300
3回	56	9	168
4回	17	3	68
5回	15	2	75
6回	9	1	54
7回	2	0	14
8回	6	1	48
9回	1	0	9
10回	2	0	20
11回	0	0	
12回	1	0	12
13回	0	0	
14回	1	0	14
計	662	100	1,184

(第2表) 利用、不明別の巢数

区分	巢数	割合(%)
利用	282	43
不明	380	57
計	662	100

#### 4. 種類別

ハシボソガラスの巣とフトガラスの巣の割合は6:4であった。第2表に比べ第3表の「不明」が少ないのは、第2表の「不明」にはボソガラスまたはフトガラスが巣に来ていたが、利用状況が確認できず「不明」としたものが含まれていることによる。

#### 5. 営巣木の構成

落葉樹が67%で最も多いが、常緑樹は巣の発見が難しいので、実際は常緑樹がもう少し多いのかも知れない。落葉樹で多いのはケヤキ、コナラであり、常緑樹ではマツであった。第4表で電柱とある中の殆どは高圧線鉄塔で、6%を占めた。

(第3表) 種類別の巣数

種類別	巣の数	割合(%)	
ハシボソガラス	177	27	60
ハシフトガラス	118	18	40
(小計)	(295)	—	—
不明	367	55	—
計	662	100	100

(第4表) 営巣木の構成

区分	巣の数	割合(%)
落葉樹	443	67
常緑樹	159	24
電柱	36	6
看板、テレビ塔 信号機	3	0
不明	21	3
計	662	100

#### 6. 巣材

ハンガー有りの巣が18%あった。(第5表) 巣は何からできているか

巣材	巣の数	割合(%)	備考
木の枝だけ	487	74	
ハンガー有	120	18	ハンガーだけの巣を含む
ビニール紐有	17	3	プラスチック有りを含む
青い鉄線有	1	0	
不明	37	5	
計	662	100	

#### 7. 巣のある環境

丘陵地が19%で最も多かったが、公園、住宅地・屋敷林、雑木林、神社境内等、人の生活環境の近くで営巣している例が意外に多かった。

(第6表) 巣のある環境

巣の環境	巣の数	割合(%)	備考
街路樹	22	3	
公園	121	18	
神社境内	45	7	
基地	5	1	
学校	14	2	
公共施設地	18	3	
工場内	6	1	建設資材置き場含む
住宅地、屋敷林	119	18	ビル、独立木含む
雑木林	100	15	
農耕地	6	1	
丘陵地	128	19	段丘崖、山地含む
河畔林	61	9	河川敷含む
高圧線鉄塔	13	2	電柱、通信塔含む
不明	4	1	
計	662	100	

## ハクセキレイの集団罫（2003年1月～6月）

取りまとめ：粕谷和夫

横山町三角広場の集団ねぐらは前年10月からねぐら入りが0になってしまい、今期は全く利用されませんでした。JR八王子駅前京王プラザホテル前の1本のイチヨウも枝が強剪定されてねぐらとして利用されている気配はなし、前記2地点の中間地である中町の長崎屋前、西放射ユーロードの小さな三角広場の1本のクスノキへのハクセキレイの罫が定着したとみられる。

今期は浅川萩原橋の南、国道20号バイパスと秋川街道の交差点（元本郷町信号、平岡町27）の電柱2本に形成された罫を3月29日に粕谷が発見したが、この罫が継続するかどうかは不明である。

### 1. 八王子市横山町三角広場・（八王子7J、倉本修調査）

2002年1月25日（晴）16:56～17:25	罫入り0羽（無し）
2月21日（晴）17:25～17:45	罫入り0羽（無し）
3月27日（曇）夕	罫入り0羽（無し）
4月22日（晴）夕	罫入り0羽（無し）
5月29日（晴）夕	罫入り0羽（無し）
6月25日（曇）夕	罫入り0羽（無し）

### 2. JR八王子駅前京王プラザホテル前・（八王子7J、粕谷和夫調査）

ねぐら入りの様子がない。

### 3. 中町の長崎屋前、西放射ユーロード三角広場・（八王子7J、粕谷和夫調査）

2月26日（晴）1本のクスノキに840羽、17:35～17:58の間にねぐら入り。ねぐら入り直後の鳴声がいつもと比べ静かであった。

5月28日（晴）1本のクスノキに51羽（18:56～19:13の間）。なお、当日、周辺の他のクスノキ、カツラ、シモクレン等には罫入り0羽。ヒヨドリ2羽がハクセキレイと同じクスノキに罫入りした。また、同木にキジバトの巣が出来ていたが主は不在であった。

### 4. 八王子市北野町西東京三菱北野ショップ・（八王子8J、粕谷和夫調査）

4月4日、18:06～18:23の間に2本のクスノキに115羽罫入り

6月6日、19:00、1羽が罫入りして、19:20までに合計2羽罫入り

### 5. 国道20号バイパスと秋川街道の交差点・（八王子6K、粕谷和夫調査）

3月29日、電柱2本、18:25から18:35の間観察、最初は就餌前の集合と思ったが、暗くなっても他に移動しないこと及び近くに罫となりそうな木（街路樹）がないことから、電柱をねぐらとしているものと判断した。2本の電柱のうち、信号に近い方の電柱には水銀灯が輝き約100羽、もう1本の電柱は東側のもので、水銀灯は無く約500羽が電柱を中心に電線と電線を支えるアーム、水銀灯がある電柱では変圧器の周辺



にも集まっていた。2本の電柱の下（地面）は糞で白く汚れていた。

6. ホンダクリオ新・東京 八王子店の北側歩道街路樹・(八王子3G、横山由美子調査)

街路樹のエンジュは冬季に強い選定を受け、小枝の無い状態となり、11月から4月までは罫として使われなかった。エンジュに隣接するホンダ店敷地内のカツラの木も落葉するが、エンジュより先に葉が茂るため、5月初旬のエンジュの枝が短いものはカツラのみに入っていた。

5、6月に罫入りしたのはハクセキレイのみであった。

1月～4月 0  
 5月11日 19:00 2(カツラ)すでに入っている  
 5月28日 18:45～19:06 23(エンジュ)、14(カツラ)合計 37  
 6月8日 18:58～19:15 10(エンジュ)

7. 高尾駅南口・(八王子2G、横山由美子調査)

罫となっている高尾駅南口マクドナルド前の桜の木は11月から落葉し、4月まで罫入りは見られなかった。

今年はセグロセキレイのほか巣立ち後の幼鳥らしいツバメも罫として利用した。

1月～4月 0  
 5月8日 18:40 セグロ2  
 5月26日 18:42～19:07 セグロ8、ハク2、(ツバメ2)  
 6月12日 18:30～18:50 セグロ22、ハク1、(ツバメ2)

(参考) 横山町三角広場の集団ねぐらの経年変化

1989年11月、会員の田中英吉によってこの集団ねぐらが確認されて、翌年の2月から毎月1回のカウントは粕谷和夫、田中英吉、倉本修と受け継がれてきました。データは以下のとおりです。

横山町三角広場のハクセキレイねぐら入り羽数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1990		167	43	172	53	12	16	31	124	403	349	324
1991	39	339	256	65	27	28	47	39	92	108	152	169
1992	273	252	87	43	64	59	54	55	59	78	163	213
1993	437	386	183	96	54	32	5	47	36	123	121	239
1994	313	179	142	57	35	36	20	37	67	326	341	304
1995	388	272	155	79	49	71	8	7	61	275	224	181
1996	177	91	61	84	25	47	14	68	174	45	193	167
1997	242	478	213	96	65	26	11	18	43	14	13	149
1998	175	226	182	73	28	16	8	83	92	21	37	146
1999	2	6	78	81	78	103	73	94	173	192	215	163
2000	109	135	107	61	42	48	122	85	96	318	239	496
2001	574	61	48	21	22	53	96	52	128	134	0	47
2002	0	0	1	0	18	16	29	17	76	0	0	0
2003	0	0	0	0	0	0	0					

## ヒメアマツバメの動向 (2003年1月~6月)

取りまとめ：粕谷和夫

コロニーのメインである私立八王子高校の高床式体育館は、上から落ちてくるヒメアマツバメ、イワツバメの糞が迷惑だとしてツバメ達をシャットアウト(ネットを張る)してしまうことに対し、教育の場でツバメ達との共存が継続されるよう2002年7月に同校校長宛にカワセミ会は要望書を提出しました。校長からは検討してみるという回答がありましたが、残念ながらこの体育館は取り壊されることになりました。新体育館は地上4階、地下1階、工期は8月から2004年3月とのこと、これをもってこのコロニーは消滅となる。

### 1. 京王線高尾駅西側ホーム高架下・八王子2G (川上志調査担当)

2月26日：夕使用中と思われる巣1個確認、2羽帰巣確認(16:45~17:30)

5月22日：夕使用中と思われる巣1~2、4羽帰巣確認(18:00~18:40)

### 2. 八王子学園八王子高校体育館・高床の下(ピロティ)八王子5J (川上志調査担当)

2月25日：夕使用中と思われる巣30~40、約70羽帰巣確認(16:45~17:30)

5月17日：夕使用中と思われる巣40、約70羽帰巣確認(17:00~18:40)

18:20~18:30に上空旋回して帰巣する約70羽の他に17時の明るい時間帯に6羽~8羽が巣の周辺を飛翔して巣に出入りしていることから抱卵育雛中と考えられる(雛は外から所見できず)。

### 3. 京王線高尾山口駅東側高架下 八王子1F (川上志調査担当)

・・・95年に発見された所

2月28日：夕使用中と思われる巣2個確認、4羽帰巣確認(16:45~17:30)

5月23日：夕使用中と思われる巣2~3、5~6羽帰巣確認(17:40~18:40)

### 4. 東浅川小学校校舎(屋根裏) 未調査

### 5. 浅川・中央高速道橋下 未調査

JR八王子駅(八王子7J)は平井国二が調査した(イワツバメのコロニーの中の1巣ヒメアマツバメの巣があったが、今年は巣の出入り口が崩れて羽毛と土の一部が落下した。放棄したらしい)。

3月23日に粕谷和夫は、京王高尾線・北野駅西側高架下コンクリートの溝の所、イワツバメの巣約10個の内の1巣の出入り口に羽が着いていたのを確認したが、利用状況は不明

### 7. 南大沢駅・武蔵府中OD (木村信幸調査担当)

6月22日朝(4:20~5:00)調査、使用中と思われる巣数は不明だがヒメアマツバメの巣自体は13ヶ所あり朝巣を飛び出していった数11羽(4:16~4:25)

## 2003年 浅川流域野鳥繁殖状況メッシュ調査結果

(取りまとめ：粕谷和夫)

国土地理院2万5千分の1地形図を縦横それぞれ10等分して得られるメッシュ(1メッシュの大きさは縦横それぞれ約1km)単位に、浅川流域の野鳥のメッシュ調査を行った。この調査は98年、東京都環境保全局が日本野鳥の会研究センターに委託して行った野鳥の繁殖状況調査を踏襲したもので、本年は38メッシュについて調査した。

調査は各メッシュ毎に担当者を決め、4月～7月の繁殖期に担当者が現地に数回出向き、そこに出現した野鳥の行動を観察して「5」繁殖確実、「4」多分繁殖、「3」繁殖可能性有り、「2」不明、「1」繁殖してない」の5段階に繁殖ランクを評価した。

結果は(第1表)の通りで、繁殖段階「5又は4」が観察された野鳥は49種で、過去6カ年ではカイツブリ1種が増えて58種となった(第2表)。

オオタカ等営巣場所をこのメッシュで出すことが望ましくない猛禽類は第1表から除き日本野鳥の会東京支部が使用するメッシュで表した(第3表)。

(第3表) 2003年猛禽類の調査結果

地形図	与瀬			五日市	拝島		八王子			立川		武蔵府中	
メッシュ	T21	T27	T28	T26	T33	T39	T34	T35	T40	T41	T44	T45	T46
ハチクマ													
トビ		2	2	2	2	2						3	
オオタカ				3		3						5③	
ツミ									4⑤				
ノスリ		2		3									
サシバ					2								
チョウゲンボウ						2						4④	
アオバズク				2			4⑥						
フクロウ				3								5⑤	

(表-1) 東京都鳥類繁殖分布調査(2003年)・猛禽類を除いたデータ(その1)

繁殖ランク(5繁殖確実、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない)

注:ランク記号は東京都鳥類繁殖分布調査の区分1による)

2万5千地形図 メッシュ番号	五日市		与瀬						拝島				
	7C	8B	4J	5K	8F	9F	8E	9E	0C	0A	2D	2C	5C
主要地点	小津小山農園	小津バス停	案下川上流	案下川下流	小仏城山東	日影沢	奥高尾一丁平	高尾山頂	美山町	下恩方河原宿	川口橋	川口小学校	谷野町
調査者	清水盛道	清水盛道	古山隆	古山隆	白川司他	白川司他	中村啓二	中村啓二	佐伯直寛	柚木育子	粕谷和夫	粕谷和夫	井手龍世
40 カワウ													
52 ゴイサギ												2	
88 カルガモ	2	2									4②	2	
89 コガモ													
149 コジュケイ	3	3									4⑥	4⑥	2
151 キジ												4⑥	3
217 キアシシギ													
296 キジバト	4⑤	4⑤		3	2	2		3	3		4⑥	4⑥	5④
298 アオバト	2				2			3					
303 ツツドリ	2				2	2	2	2					
304 ホトトギス	4⑥	4⑤		2	2	2	2						4⑥
319 ヒメアマツバメ	2	2											
320 アマツバメ	2				2								
326 カワセミ	2												
331 アオゲラ	3	3	3			2	3					2	3
339 コゲラ	2				2	2		3	3		2	2	3
344 ヒバリ													4①
347 ツバメ	5⑤	5⑤				2			5①	4②	5①	5①	
350 イワツバメ						2		2					
354 キセキレイ	4①	2	3	4②		2			3		4⑤	4⑤	
355 ハクセキレイ	3	2									2	3	2
356 セグロセキレイ		2							3		3	4②	
367 ヒヨドリ	4①	4①	3	3	4②	4②	3	3	4②	3	3	3	4④
369 モズ		3											
375 カワガラス			2										
376 ミソサザイ	4⑥		4⑥	3									
396 トラツグミ		2											
399 クロツグミ	4⑥	3	3	3	4①	2	3	3	2				
409 ヤブサメ	3			3	2	5①	4⑥	4⑥					2
410 ウグイス	4⑥	4⑥	3	3	3	3	3	4⑥	3		4⑥	4⑥	3
422 センダイムシクイ	3		3	3	2	3	3	3					
427 キビタキ	4⑥	4⑥		3	3	3	3	4⑥				2	2
430 オオルリ	4⑥		4⑥	3	2	2							
433 コサメビタキ							3	3					
434 サンコウチョウ	5①			3									2
435 エナガ	3	2			2			3			3	3	4⑤
438 コガラ					2								
439 ヒガラ	2		3	3	2			3					
440 ヤマガラ	3	3	3	3		2		4⑥				2	4⑤
441 シジウカラ	4②	4②	3	3	2	2	3	4⑥	4⑥	3	4②⑥	4⑥	5③
444 メジロ	3	3	3	3	2	2	4⑥	4⑥	3	3	4⑥	4⑥	5④
449 ホオジロ	4⑥	4⑥		3	2	2	3	3	3	3	3	2	3
461 アオジ												1	2
471 カワラヒワ	3				2				3	3	3	3	
485 イカル	2			2	2	2	3						
488 スズメ	4⑥	4⑥							5④	4①	3	5①	5④
493 ムクドリ									5⑤		4①	4③	4④
496 カケス	3		3	3		2	2	2					4⑤
498 オナガ	4⑥	4⑥								3		2	4⑤
503 ハシボソガラス	5③	5③			2	2			3	4②	5①	3	5④
504 ハシブトガラス				3	2	2	2	3	3		4⑤	4②	3
ドバト													2
ガビチョウ	4①③	4①③	3	3	2	2			3	3	3	3	4⑤

(表-1) 東京都鳥類繁殖分布調査(2003年)・猛禽類を除いたデータ(その2)

繁殖ランク(5繁殖確実、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない  
注: マジ記号は東京都鳥類繁殖分布調査の区分)による)

2万5千地形図 マジ番号	梓島		OK	1G	1F	3K	3J	八王子					
	7C	9B						3H	4F	4E	5J	6J	6H
主要地点	滝山町 1丁目	小宮駅	松竹	小仏開 所跡	高尾山 口	元八王 子	長房町	南浅川 橋	館町	寺田町	西八王 子駅	天神町	台町
調査者	粕谷 和夫	若狭 誠	柚木 育子	丸山 二三夫	丸山 二三夫	川上 憲	川上 憲	千葉 楨子	桑原 文夫	桑原 文夫	平井 国二	粕谷 和夫	粕谷 和夫
40 カワウ		1											
59 コサギ		2											
62 アオサギ		2				1							
88 カルガモ	2	5⑤4②	2	2		5⑤	2	3	4⑤				2
89 コガモ		1											
149 コジュケイ	3			3					4⑥				
151 キジ	4⑥								3				
296 キジバト	5②	4④	3		3	4③	4④	4⑥	4⑤	3	4⑤	4③	4⑥
302 カッコウ											1		
304 ホトトギス	3		3					2	4⑥				
319 ヒメアマツバメ											5①		
326 カワセミ		3											
331 アオゲラ			3					3			2		4③
336 アカゲラ								2					
339 コゲラ	2	3	3			3					2		4⑤
347 ツバメ	5①	5①	4②	3	4③4④	5①	5①	4②	4①	4①	5①	5①	5①
350 イワツバメ		3		3	4③5③			1	4①		5①		
354 キセキレイ	3	5⑤		3	3	3		4②			2	4⑥	4②
355 ハクセキレイ	2	5⑤		3		3	2	4②	4①		2		
356 セグロセキレイ	4②	5⑤		4②	3			4②					
367 ヒヨドリ	4②	5⑤		3	3	4⑥	4④	4⑥	4①	4⑥	4⑤	4②	3
399 クロツグミ					3								
400 アカハラ	2												2
405 ツグミ		1											
409 ヤブサメ			3										
410 ウグイス	4⑥	4④	3		3	4⑥	4④	4⑥	4⑥		2		2
416 オオヨシキリ	3												
422 センダイムシクイ					3								
427 キビタキ				3	3			2	3				
435 エナガ	2	3						4②					
440 ヤマガラ							3	4⑥					
441 シジュウカラ	4①	5⑤		3	3	4④	4④	4②⑥	5⑤	3	5⑤	5①	4①②
444 メジロ	3	2			3		3	4②⑥	3		4⑥	3	3
449 ホオジロ	3			3	3			3	3		2		
461 アオジ		2											
471 カワラヒワ	3	3		3	3			3	3		4②	4①	3
485 イカル			2										
488 スズメ	5①	5①	5①	5③4②	4④5③	5⑤	4②	5③	5①	4③	5①	5①	5①
493 ムクドリ		5①	3	3	3	5①	5③	5①	4④	4①	4②	5①	4①
496 カケス					3								
498 オナガ		3	3				3	3			2	2	3
503 ハシボソガラス	3	5①		5①	5①	5⑤		4③	4③	3	3	5①	5①
504 ハシブトガラス	5①	5①	2	3	3		4④	4③			3	5①	5①
ドバト	3	5③		3	3	4④	4④	2	3		4⑤		
ガビチョウ	3	3	3	3	3		3	4⑥	3	3			2



(表-1) 東京都鳥類繁殖分布調査(2003年)・猛禽類を除いたデータ(その3)

繁殖ランク(5繁殖確実、4多分繁殖、3繁殖可能性有り、2不明、1繁殖してない)

注:ラウ記号は東京都鳥類繁殖分布調査の区分による)

2万5千地形図 マップ番号	八王子			立川			武蔵府中					
	7D	9H	9G	1A	0F	1K	1G	2F	2E	3H	4K	4J
主要地点	鎌水	西平山	長沼町	大阪上	南陽台	東豊田	多摩 テック	堀之内 2丁目	京王堀 之内	高幡台 団地	日野ク ンセン ター	京王百 草園駅
調査者	門口 一雄	山崎 悠一	山崎 悠一	金子 凱彦	木村 正子	金子 凱彦	木村 正子	登坂 久雄	登坂 久雄	青木 繁昌	阿江 範彦	青木 繁昌
5 カイツブリ												4⑤
40 カウ				1		1					1	
59 コサギ						1					2	
62 アオサギ	1			1	1	1	1	1			2	
88 カルガモ		5⑤4②	5⑤4②					3	3	1	3	1
149 コジュケイ	3				4⑥		4⑥	3	3	4⑥	3	4⑥
151 キジ								3	3		3	
167 パン		3	3									
176 コチドリ		4⑤	4⑤					3	3			
177 イカルチドリ		4⑤	4⑤									
217 キアシシギ												
218 イソシギ		4⑤	4⑤									
296 キジバト	3	4④5③	4④5③	3	4⑥	4③	4⑥	3	4⑤	4③	3	4③
298 アオバト	1						1					
304 ホトトギス	1	4⑥	4⑥		4⑥					4⑥		4⑥
326 カワセミ		4⑤	4⑤								3	
331 アオゲラ					4⑥		4⑥			3		3
339 コゲラ	3		4⑥		4②③	3	4③	3	3	5⑤	2	3
344 ヒバリ											4④	
347 ツバメ	3	5①	5①	5①	5①	1		3	3	5⑤	2	5①③
349 コシアカツバメ										3	2	
350 イワツバメ		5③	5③					3			2	
354 キセキレイ					3							
355 ハクセキレイ		4②	4②		2		2	3	3	2		2
356 セグロセキレイ		4②	4②									
360 ビンズイ	1						1					
367 ヒヨドリ	3	5⑤	5⑤	3	4②	4①	4⑤	3	3	4⑥	2	4⑥
369 モズ		5③4②	5③4②				4⑤	3				
400 アカハラ							1					
402 シロハラ							1					
409 ヤブサメ					4⑥							
410 ウグイス	3		4①		4⑥		4⑥			4⑥		4⑥
416 オオヨシキリ			4①								4⑤	
422 センダイムシクイ							1					
425 セッカ											4⑤	
427 キビタキ	3						4③					
435 エナガ					4⑥		4②			5⑤		5⑤
440 ヤマガラ							3			3		3
441 シジュウカラ	4②	5⑤4②	5⑤	3	4②5①	5⑤	4⑤⑥			5⑤	3	5⑤
444 メジロ	4②				5③	3	4⑥			5⑤		5⑤
449 ホオジロ	3			2	4⑥		4⑥				3	
461 アオジ							1					
471 カワラヒワ					4⑥		4⑥			2	2	
472 マヒワ							1					
486 シメ							1					
488 スズメ	3	5①5⑤	5①5⑤	3	5③⑤	4①④	5③			5⑤	3	3
493 ムクドリ		5①5⑤	5①5⑤	3	5③④	3	4③			5⑤	3	3
496 カケス							2					3
498 オナガ				2		3				3		3
503 ハシボソガラス	3	5①	5①	3	5⑤	4③⑥	4④			5①⑤	4③	
504 ハシブトガラス	3		5①	4④	5⑤	5⑤	4④			5①⑤	2	5③
アヒル						1						
ドバト				3		3	4⑥				3	
ガビチョウ	3				4⑥		4⑥			4⑥		3

(第2表) 繁殖段階4又は5が観察されたメッシュ数

調査年(西暦)	98	99	00	01	02	03	5ヶ年 最大
調査メッシュ数	40	40	39	40	38	38	
5 カイツブリ						1	1
40 カワウ							
52 ゴイサギ	1						1
57 ダイサギ							
59 コサギ	1						1
62 アオサギ							
88 カルガモ	8	4	8	4	6	6	8
89 コガモ							
119 ハチクマ							
120 トビ		1		1			1
123 オオタカ	3	4	4	3	1	1	4
125 ツミ					2	1	2
129 ノスリ				1	1		1
130 サシバ							
145 チョウゲンボウ	1	1	1	1	1	1	1
149 コジュケイ	11	8	6	8	6	7	11
151 キジ	4	6	2	3	2	2	6
167 バン							
176 コチドリ					1	2	2
177 イカルチドリ			1		1	2	2
217 キアシシギ							
218 イソシギ	1	2	1	1		2	2
296 キジバト	21	22	19	19	15	22	22
298 アオバト							
302 カッコウ							
303 ツツドリ							
304 ホトトギス	1		8	9	8	9	9
314 アオバズク	1					1	1
315 フクロウ		1	1	1	1	2	2
317 ヨタカ							
319 ヒメアマツバメ	1	1	1	1	2	1	2
320 アマツバメ							
321 ヤマセミ							
326 カワセミ	2	3	1	1	1	2	3
331 アオゲラ	5	2	4	3	3	3	5
336 アカゲラ	2						2
339 コゲラ	12	11	12	12	11	6	12
344 ヒバリ	1	4	3	2	2	2	4
347 ツバメ	26	25	25	23	29	25	29
349 コシアカツバメ	1	1	1	1	1		1
350 イワツバメ	7	6	7	7	6	5	7
354 キセキレイ	13	10	13	11	12	8	13
355 ハクセキレイ	6	4	4	7	3	5	7
356 セグロセキレイ	8	7	8	7	4	7	8
360 ビンズイ							

調査年(西暦)	98	99	00	01	02	03	5ヶ年 最大
調査メッシュ数	40	40	39	40	38	38	
367 ヒヨドリ	21	19	20	18	21	23	23
369 モズ	2	2	5	4	3	3	5
375 カワガラス							
376 ミソサザイ	1	1	1	1	1	2	2
385 コルリ							
396 トラツグミ							
399 クロツグミ	5	2	3	5	5	2	5
400 アカハラ							
402 シロハラ							
405 ツグミ							
409 ヤブサメ	7	6	4	6	5	4	7
410 ウグイス	21	23	6	19	23	17	23
416 オオヨシキリ	3	1	2	2	2	2	3
420 メボソムシクイ							
422 センダイムシクイ	3	3	2	2	2		3
424 キクイタダキ		1	1				1
425 セッカ	1	1	1		1	1	1
427 キビタキ	6	4	4	7	3	4	7
430 オオルリ	6	5	4	5	2	2	6
433 コサメビタキ							
434 サンコウチョウ				1	1	1	1
435 エナガ	5	8	10	8	8	6	10
438 コガラ							
439 ヒガラ	2	2	1	2			2
440 ヤマガラ	7	7	8	4	4	4	8
441 シジュウカラ	28	28	29	30	31	26	31
444 メジロ	11	20	18	13	12	14	20
449 ホオジロ	17	13	13	9	10	4	17
455 カシラダカ							
461 アオジ							
462 クロジ							
471 カワラヒワ	14	7	7	6	8	4	14
472 マヒワ							
485 イカル							
486 シメ							
488 スズメ	31	28	31	27	26	26	31
493 ムクドリ	25	26	23	19	23	19	26
496 カケス	1			1	1	1	1
498 オナガ	2	4	5	2	3	4	5
503 ハシボソガラス	14	13	15	19	15	21	21
504 ハシブトガラス	15	9	10	12	12	16	16
アヒル							
ドバト	6	5	7	5	5	5	7
ガビチョウ	1	5	8	14	13	8	14
ソウシチョウ							
種類数	49	46	47	48	48	49	58

## 2003年 カルガモ繁殖状況調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

浅川の本支流はカルガモの繁殖地であり、その数を1988年以来毎年カウントしている。カウント調査は昨年と同様、浅川の本支流を15に区分した他、谷地川、大栗川、程久保川を継続し、会員が分担して5月から7月の間に2～3回の現地観察によって行った。

結果は(第1表)及び(第2表)の通りで、浅川水系では親子連れの数に減少傾向にあり、23組、子116羽となった。本支流の内訳は(第3表)、谷地川、大栗川及び程久保川の結果は第1表の⑯～⑲の通りである。

(第1表) 平成2003年カルガモ繁殖期カウント結果 (単位: 組、羽)

		担当者 (代表者)	親子連れ			単独 成鳥数	カルガモ 数総計
			組数	親数	子数		
北浅川	①大沢橋～陵北大橋	丸山二三夫	2	2	12	12	26
	②陵北大橋～松枝橋	河村洋子	0	0	0	36	36
	計		2	2	12	48	62
浅川本流	③松枝橋～鶴巻橋	山浦秀雄	1	2	11	24	37
	④鶴巻橋～大和田橋	倉本修	1	1	8	36	45
	⑤大和田橋～長沼橋	佐藤哲郎	0	0	0	12	12
	⑥長沼橋～一番橋	山崎悠一	2	2	2	21	25
	⑦一番橋～多摩川合流	門口一雄	1	1	4	14	19
	計		5	6	25	107	138
川口川	⑧川口橋～明治橋	杉森ユリ	5	5	30	62	97
	⑨明治橋～浅川合流	小澤礼子	1	1	2	33	36
	計		6	6	32	95	133
南浅川	⑩案内橋～敷島橋	川上恵	0	0	0	6	6
	⑪敷島橋～浅川合流	小池一男	2	2	9	37	48
	計		2	2	9	43	54
⑫城山川 (月夜峰新橋～浅川合流)		木村晴美	3	4	15	23	42
⑬山田川 (山田橋～浅川合流)		平井国二	0	0	0	16	16
湯殿川	⑭白旗橋～時田橋	長谷川篤	4	5	20	48	63
	⑮時田橋～浅川合流	加藤岸男	1	1	3	23	27
	計		5	6	23	61	90
浅川水系の計			23	26	116	393	535
⑯程久保川 (小宮橋～浅川合流)		青木繁昌	1	1	1	18	20
⑰谷地川 (月見橋～新左入橋)		井手龍世	0	0	0	15	15
⑱谷地川 (新左入橋～田島橋)		大川征治	0	0	0	20	20
⑲谷地川 (田島橋～多摩川合流)		傍島玲子	3	3	14	18	35
⑳大栗川 (鎌水～横倉橋)		木村信幸	3	3	10	36	49
総計			30	33	141	500	674

なお、山崎久美子は通勤途上、6月23日(大栗川橋上流)親+1子1、7月8日(大栗川と太田川の合流点)親1+子9を確認。粕谷和夫は6月6日、山田川石田橋の上流側約50mで(親1+子7)を観察。

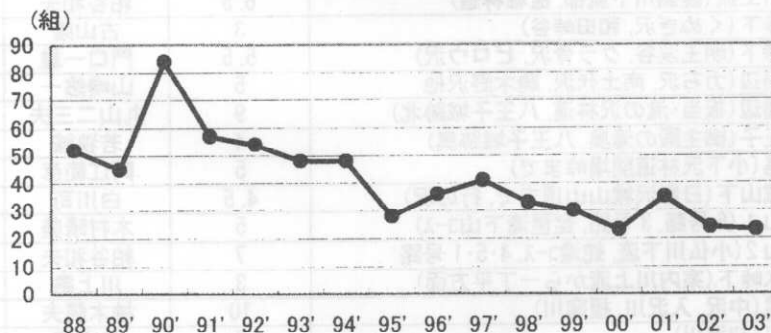
(第2表) 浅川水系におけるカルガモの繁殖状況年変化

年	親子連れ				単独成鳥	総計
	組数	親数	子数	平均子数		
1988	52	52	276	5.3	402	730
1989	45	49	228	5.1	379	656
1990	84	88	451	5.4	594	1133
1991	57	61	318	5.6	537	916
1992	54	58	272	5.0	452	782
1993	48	49	254	5.3	633	936
1994	48	49	275	5.7	623	947
1995	28	28	146	5.2	522	696
1996	36	38	194	5.4	613	854
1997	41	49	202	4.9	520	771
1998	33	36	171	5.2	434	641
1999	30	31	140	4.7	404	575
2000	23	25	113	4.9	415	553
2001	35	38	199	5.7	413	650
2002	24	25	122	5.1	339	484
2003	23	26	116	5.0	393	535

(第3表) 浅川水系の本支流カルガモの親子連れ組数年次変化

年次	北浅川	浅川本流	川口川	南浅川	城山川	山田川	湯殿川	合計
1988	2	30	13	2	0	1	4	52
1989	0	18	7	6	9	1	4	45
1990	2	36	15	11	9	1	10	84
1991	2	22	10	5	5	1	12	57
1992	3	24	5	4	6	1	11	54
1993	4	19	5	5	7	1	7	48
1994	5	18	9	6	4	1	5	48
1995	4	10	1	4	3	0	6	28
1996	5	9	5	8	3	0	6	36
1997	2	13	3	6	10	0	7	41
1998	0	14	2	3	8	1	5	33
1999	2	4	9	3	7	2	3	30
2000	2	9	4	3	4	1	0	23
2001	5	9	11	3	4	1	2	35
2002	4	3	3	4	4	0	6	24
2003	2	5	6	2	3	0	5	23

カルガモ親子組数の年次変化





## 2003年オオルリ他夏鳥調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

八王子市の鳥・オオルリの生息地である丘陵地や山間部の自然環境の動向を見守るため、1992年以来生息数調査を毎年行っている。また、オオルリの他にツツドリ、ホトトギス、クロツグミ、キビタキ、センダイムシクイ等の夏鳥の数もカウントした。

### 1. 調査場所

第1表に示す通り八王子市内の丘陵地、山間部の沢筋、谷筋の19区域で行った。踏査総延長は昨年同様101kmであった。

### 2. 調査時期

4月下旬～6月下旬にそれぞれの区域で2～3回行った。

### 3. 調査参加会員数

第1表の通り、延べ42名の会員が調査を行った。

### 4. 結果

結果は第2表の通りであり、19区域（沢筋、谷筋）の内、16区域で合計64羽のオオルリを確認した。この調査は12年間継続しているが、本年は昨年同様過去最高であった。沢別では、⑤小津、⑥醍醐川上流、⑯高尾山1周辺で多く観察され、採石の続く④美山では、本年も観察されなかった。

オオルリのカウントと同時に実施した夏鳥他全野鳥の調査結果は第3表の通りであり、本年は55種が出現した。主な夏鳥等の出現数の経年変化は第4表に、その内の幾つかはグラフで示した。また、ガビチョウがほぼ全地域で記録されており、この地域に定着した感がある。その他ではサンコウチョウが6カ所まで記録された。

(第1表) オオルリの調査場所別出現数(2003年)

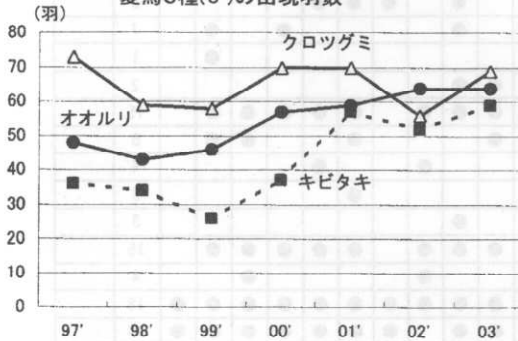
	調査延長	調査責任者	延べ参加数
①上川(今熊山北沢, 同南沢, 金剛の滝)	5	河村道寛	2
②加住南丘陵(谷地川源流部)	6	大川征治	2
③川口丘陵(天合峰, 釜の沢, 滝の沢)	3.5	川戸恵一	1
④美山(山入川奥, 美山小学校, お屋敷川)	5	佐伯直寛	1
⑤小津(小津バス停奥, 小津川源流部)	6	清水盛道	1
⑥醍醐川上流(醍醐川上流部, にく沢)	4.5	馬場裕	2
⑦醍醐川上流(醍醐川下流部, 盆堀林道)	6.5	粕谷和夫	1
⑧和田峠下(くぬぎ沢, 和田峠谷)	3	古山隆	1
⑨明王峠下(明王溪谷, クラ骨沢, ピロウ沢)	5.5	門口一雄	1
⑩力石周辺(力石沢, 南土代沢, 駒木野沢他)	5	山崎悠一	2
⑪松竹周辺(板当・滝の沢林道, 八王子城跡北)	9	丸山二三夫	6
⑫元八王子(御主殿の滝奥, 八王子城跡奥)	4	若狭誠	4
⑬裏高尾(小下沢林道関場峠まで)	5	阿江範彦	1
⑭小仏城山下(日影沢城山山頂まで, 行の沢)	4.5	白川司	2
⑮高尾山1(6号路, 3号路, 琵琶滝下山コース)	5	木村晴美	8
⑯高尾山2(小仏川下流, 蛇滝コース, 4・5・1号路)	7	粕谷和夫	1
⑰大垂水峠下(案内川上流から一丁平方面)	3	川上憲	2
⑱裏高尾(中沢, 入沢川, 榎窪川)	10	柚木鎮夫	2
⑲初沢川(初沢川)	3	倉本修	2
計	101		42



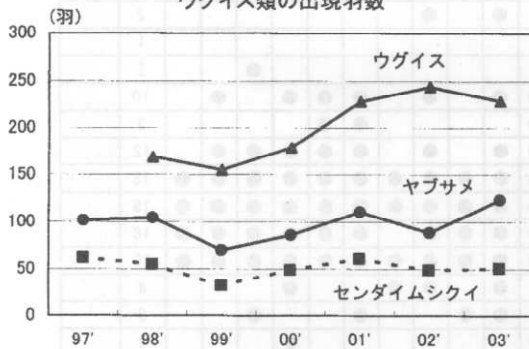
(第2表) 沢別・年次別のオオルリ♂の出現数 (八王子山間部、丘陵地)

場所	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
①上川	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2
②加住南丘陵	未調査	未調査	未調査	未調査	0	2	2	1	3	1	0	0
③川口丘陵	未調査	未調査	未調査	未調査	1	3	0	0	0	0	1	0
④美山	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
⑤小津	3	2	2	3	3	2	3	3	4	13	11	8
⑥醍醐上流	1	1	2	1	1	4	4	1	8	5	8	7
⑦醍醐下流					3	3	2	2	2	2	4	3
⑧和田峠下	4	2	1	2	4	1	3	2	2	2	2	2
⑨明王峠下		2	2	3	7	4	5	3	5	3	3	4
⑩力石周辺	1	1	1	3	2	3	3	6	1	6	6	4
⑪松竹周辺	1	2	1	2	3	3	0	2	8	4	8	5
⑫元八王子	0	1	0	4	1	3	1	3	1	1	1	2
⑬裏高尾	3	3	3	2	4	3	4	3	6	2	2	6
⑭小仏城山下	2	2	3	3	2	2	1	2	3	5	3	3
⑮高尾山1	6	1	4	2	4	3	4	6	3	3	3	7
⑯高尾山2		4	3	5	4	6	5	5	4	6	4	4
⑰大垂水峠下	2	4	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1
⑱表高尾	1	3	2	4	2	1	2	3	3	2	4	5
⑲初沢川	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
計	25	30	28	38	45	48	43	46	57	59	64	64

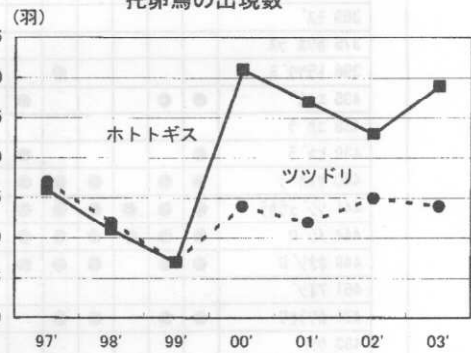
夏鳥3種(♂)の出現羽数



ウグイス類の出現羽数

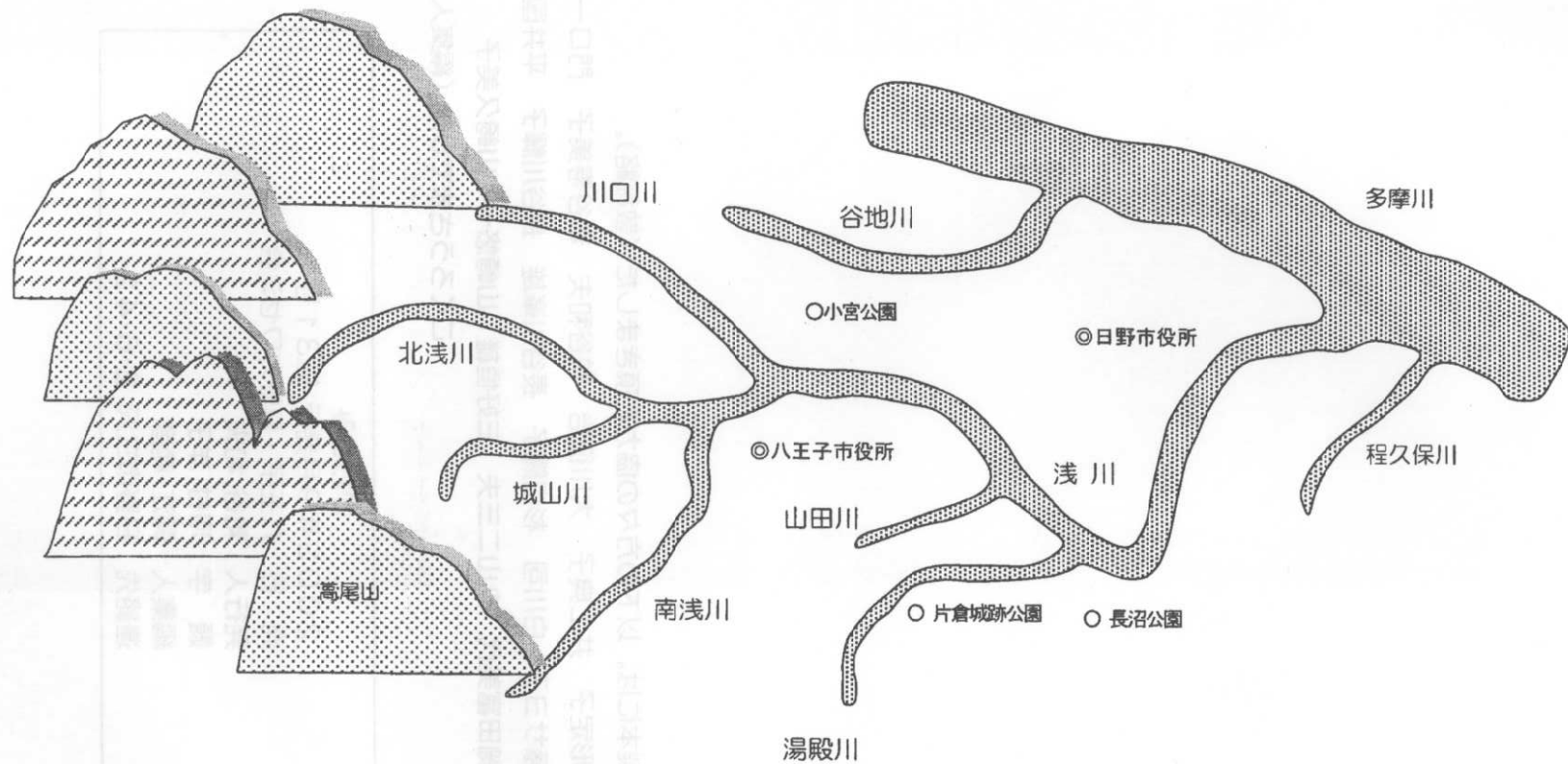


托卵鳥の出現数



(第3表) オオルリ出現期における夏鳥他全野鳥の出現状況 (●印は出現、数字は羽数 2003年4月~6)

	①~⑱は調査要領の①~⑱に対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	出現箇所数	出現個体数	
		上川	加住南丘陵	川口丘陵	美山	小津	醍醐上流	醍醐下流	和田峠下	明王峠下他	力石周辺	松竹周辺	元八王子	裏高尾	小仏城山下	高尾山琵琶滝	高尾山蛇滝	大垂水峠下	表高尾			初沢川
出現した夏等のみ	303 ツツドリ					2	2	1		2	1	1			2			1	2		9	14
	304 ホトトギス		2		3	8	1	3		2		2	1		2	2	1	2			12	29
	347 ツバメ	8	30	1	8	15	1			1	2	13	2				4			2	12	87
	350 イワツバメ											6			3	2	4				4	15
	376 ミソサザイ					1	2	1	6	3	1			5				1			8	20
	399 クロツグミ	3			2	11	8	6	2	3	6	6		3	6	3	3	1	6		15	69
	409 ヤブサメ	5	1			7	9	8	4	10	9	10	9	3	9	10	9		17	4	16	124
	410 ウグイス	13	4	2	15	15	12	21	2	15	17	20	13	4	27	15	9	6	17	2	19	229
	422 センダ'イムシクイ					6	6	5	2	6	13	3			5	4		1			10	51
	424 キイタ'キ						1					1							2		3	4
	427 キビ'タキ	3	6			6	3			4	3	5	2		6	4	7	1	8	1	14	59
	430 オオルリ	2				8	7	3	2	4	4	5	2	6	3	7	4	1	5	1	16	64
	434 サンコウチョウ				2	3	1					1				1					5	8
出現したその他の野鳥	62 アサギ'									●		●		●					●			
	88 カルガ'モ		●			●				●	●	●				●						6
	120 トビ'				●	●		●		●		●			●							6
	123 村ガ'				●	●		●		●		●		●								5
	129 ノスリ				●	●		●		●		●		●		●						5
	149 コジ'ユクイ		●			●			●	●		●								●		7
	150 ヤマト'リ																			●		1
	151 キジ'											●	●									2
	296 キジ'バト	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		15
	298 アオ'バト					●	●	●		●	●				●			●	●			8
	319 ヒメアマツ'ハメ		●			●							●			●						4
	320 アマツ'ハメ		●			●									●							3
	326 カワ'セミ					●							●									3
	331 アケ'ゲラ	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15
	336 アカ'ゲラ	●									●								●			4
	339 コ'ゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
	354 キセ'キレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
	355 ハク'セキレイ	●	●			●																5
	356 セ'ク'ロセキレイ	●				●					●											6
	367 ヒヨ'ドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
	369 モ'ズ											●		●								2
	375 カワ'ガラス									●												1
	396 トラ'ツグミ					●												●				2
	435 エ'ナガ'	●	●			●					●	●		●		●	●		●			10
	438 コ'ガラ										●											3
	439 ヒ'ガラ	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
	440 ヤマ'ガラ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
	441 シ'ジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
	444 メ'ジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
	449 村'ジロ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
	461 ア'オシ'											●										4
	471 カ'ワラビク	●	●		●	●		●			●	●				●			●			9
483 ウ'ツ										●								●			2	
485 イ'カル	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	
488 ス'ズメ	●	●	●	●	●						●	●			●	●	●		●		12	
493 ム'クドリ	●	●			●						●										6	
496 カ'ケス	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
498 村'ガ'																					2	
503 ハ'シホ'ソカ'ラス	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	
504 ハ'シホ'トカ'ラス	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	
ト'バト				●												●	●				3	
カ'ビ'チヨウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18	
出現種類数		28	29	11	22	41	25	28	21	35	32	40	28	15	31	33	28	28	26	14	55	



八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲



30号印刷・製本には。以下の方々の協力を頂きました（敬称略）。

青木繁昌 井形定子 井上典子 大川征治 粕谷和夫 粕谷寿美子 門口一雄  
佐藤哲朗 佐藤サヨ子 白川司 杉田陽子 長谷川峯雄 長谷川輝子 平井国二  
平井智恵子 細田富美代 丸山二三夫 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子

ごくろうさまでした（編集人）

かわせみ

2003年9月発行 第31号

発行 八王子・日野カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

題字 河村 洋子

編集人 阿江 範彦

連絡先 日野市三沢 2-6-42



**Hachiōji  
Kawasemikai**